

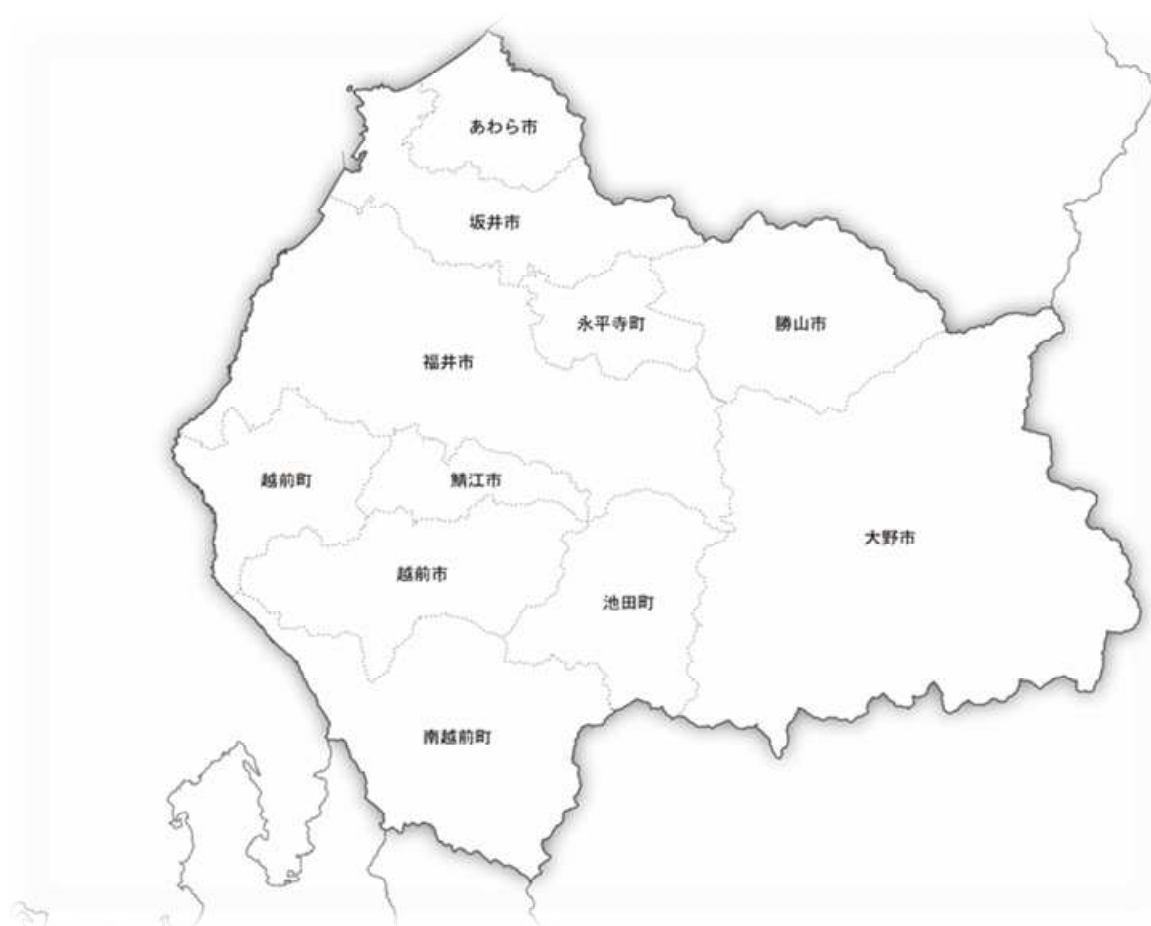
(案)

第 2 期

ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン

～ つながり 創造する

活力と魅力あふれる ふくい嶺北都市圏 ～



令和 6 年 4 月

福 井 市

目 次

第1章 ふくい嶺北連携中枢都市圏の推進

1 第2期ビジョン策定の趣旨	1
2 連携中枢都市圏の名称及び構成市町	2
(1) 連携中枢都市圏の名称	2
(2) 連携中枢都市圏の構成市町	2
3 連携中枢都市圏及び構成市町の概要	3
(1) 連携中枢都市圏の概要	3
(2) 構成市町の概要	4
4 取組期間	10

第2章 ふくい嶺北連携中枢都市圏の概況

1 人口	11
(1) 将来推計人口	11
(2) 市町別の人口推移	12
2 産業	13
(1) 雇用の状況	13
(2) 農林水産業の状況	15
(3) 工業・商業の状況	21
3 観光・文化	25
(1) 観光客入込数	25
(2) 主要観光地別観光客数の推移	27
(3) 主な観光名所・旧跡・文化財等	28
4 交通	29
(1) 道路・鉄道交通網の状況	29
(2) 交通インフラの状況	32
5 教育	33
(1) 高等教育機関等	33
(2) 文化施設等	34
(3) スポーツ施設	35

6 医療	37
(1) 市町別の医療機関数・医師数	37
(2) 医療機関	37
7 福祉	38
(1) 介護	38
(2) 出産・子育て	40

第3章 ふくい嶺北連携中枢都市圏の将来展望

1 第1期ビジョンの総括	42
(1) これまでの実績	42
(2) 第2期ビジョンの策定に向けて(課題と今後の展開)	44
2 ふくい嶺北連携中枢都市圏の将来像	45
(1) 中長期的な将来像	45
(2) 将来像の実現に向けた基本方針	46
3 ふくい嶺北連携中枢都市圏が目指す目標人口	49
(1) 目標人口の推計方法	49
(2) 将来の目標人口	49

第4章 連携協約に基づき推進する具体的取組

1 具体的取組	50
(1) 圏域全体の経済成長のけん引	50
(2) 高次の都市機能の集積・強化	60
(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	64
2 成果指標(再掲)	92

第1章 ふくい嶺北連携中枢都市圏の推進

1 第2期ビジョン策定の趣旨

我が国は本格的な人口減少・少子高齢社会を迎えており、さらに、大都市圏への人口の集中に伴い、地方では人々が快適で安心して暮らしていくための基盤が失われるとともに地方公共団体が行政サービスを持続的に提供できなくなってしまうことが懸念されている。

このような中、人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、地域住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするために、地域において、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と連携し、一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することが必要と考えられている。この考えに基づき、平成26年度より国において「連携中枢都市圏構想」が進められているところである。

令和6年春には北陸新幹線の金沢～敦賀間が開業し、多くの人がこの圏域を訪れることとなる。この機会を逸することなく、交流人口のみならず定住人口の増加につなげ、圏域の拠点性を高めていくことが重要である。

そこで、福井市を圏域の中心市として地域の一体的かつ持続的な発展を図るため、福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市の7市と、永平寺町、池田町、南越前町、越前町の4町で構成する連携中枢都市圏の形成に取り組むこととし、平成31年4月1日に「ふくい嶺北連携中枢都市圏」を設立した。

策定した「ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン」〔計画期間:令和元年度(2019年度)～令和5年度(2023年度)(以下「第1期ビジョン」という。)]の下で、圏域市町一体となり、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持するための様々な事業に取り組んできたところである。

令和5年度(2023年度)末で第1期ビジョンの期間が終了するが、今後も、引き続き、圏域全体の持続的な発展を見据えて、7市4町の多様な資源、産業、人材の活用や、定住人口の増加のために必要な高次の都市機能の集積に向けた環境整備、また、住民の生活関連機能・サービスの維持・向上を目指し、連携して取組を推進する必要がある。

そのため、第2期ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン(以下「第2期ビジョン」という。)を策定する。

2 連携中枢都市圏の名称及び構成市町

(1) 連携中枢都市圏の名称

本連携中枢都市圏の名称は、ふくい嶺北連携中枢都市圏とする。

(2) 連携中枢都市圏の構成市町

福井市

大野市

勝山市

鯖江市

あわら市

越前市

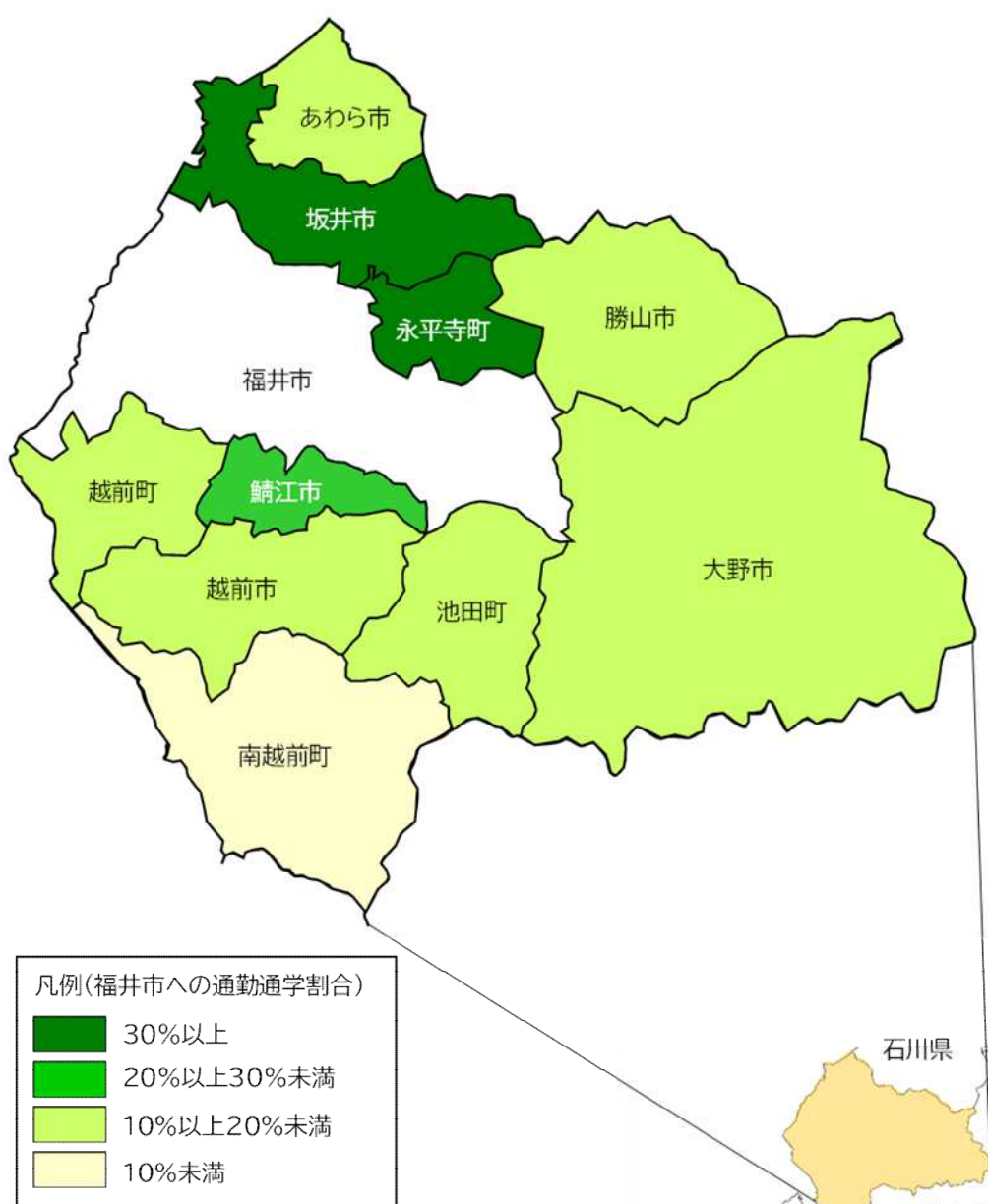
坂井市

永平寺町

池田町

南越前町

越前町



(注) 構成市町の掲載順は、総務省の
「全国地方公共団体コード」による

3 連携中枢都市圏及び構成市町の概要

(1) 連携中枢都市圏の概要

本圏域は、日本の中央部、中部地方の日本海に面した福井県の北部に位置し、総面積は約3,091km²で福井県全体の約74%を占め、また、総人口は632,190人(総務省「令和2年 国勢調査」)で福井県全体の約82%を占めている。

山中・木ノ芽・朽ノ木の各峠を通る稜線を境とした本圏域は、赤兎山や日野山などの緑豊かな山林や、越前加賀海岸国定公園に指定されている日本海海岸線を擁し、四季折々の自然環境に恵まれている。

また、7世紀末に「越前国」が成立して以来、由緒ある歴史が脈々と受け継がれている。京都や奈良にも近いことから新田義貞や朝倉義景、柴田勝家など名だたる武将が越前国で天下を争い、江戸時代になると徳川家康の次男である結城秀康がこの地を治めた。幕末には越前福井藩の松平春嶽や由利公正、橋本左内など日本全体に影響を与えた人物が活躍した。

産業面では、越前焼や和紙、漆器をはじめとする伝統工芸や、繊維や機械、眼鏡などの地場産業、稲作を中心に、そばや越前がに、越前水仙などの農林水産業は、圏域において大きな発展を遂げる限りない可能性を秘めている。

さらに本圏域は、県内の交通・物流の拠点としても重要な役割を担っており、南北を北陸自動車道が縦断しているほか、広域交通の円滑化を図るとともに、文化・観光資源を活かした地域振興や産業経済の発展を図るために、福井市から松本市に至る中部縦貫自動車道の整備が進められている。この中部縦貫自動車道は、本圏域と中部・関東圏を最短で結び、国土強靱化の推進にも不可欠な高規格幹線道路である。

また、令和6年春には、北陸新幹線の金沢～敦賀間が開通することにより、首都圏等とのアクセスが大幅に向上することとなる。北陸新幹線と中部縦貫自動車道との相乗効果を活かし、今後さらに、三大都市圏などとの広域的な交流・連携の中心的な役割を担っていくことが期待される。

(2) 構成市町の概要

福井市

福井市は、平成 18 年に 1 市 2 町 1 村が合併して誕生。「足羽川」や「足羽山」、「越前海岸」など豊かな自然に恵まれ、「特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡」や福井藩主松平家の別邸「名勝 養浩館庭園」などを有し、歴史や文化を感じ取ることのできるまちである。

北陸新幹線の福井開業効果を最大限に引き出すために、100 年に一度の好機を逃すことなく、新たな人の流れを見据えた観光誘客や二次交通の充実、特産品の販路拡大や関係人口の創出・拡大に取り組んでいる。

持続可能なまちづくりを進め、第八次福井市総合計画に掲げる将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」の実現を目指している。



観光交流センター

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
平成27年	265,904人	99,872世帯	536.41km ²	495.7/km ²	28.07%
令和2年	262,328人	104,470世帯	536.41km ²	489.0/km ²	28.90%

大野市

大野市は、昭和 29 年 7 月に大野町など 2 町 6 村が合併して誕生。昭和 45 年 7 月に西谷村、平成 17 年 11 月に和泉村をそれぞれ編入合併し、今に至っている。

総面積 872.43 km²と県内で最も大きく、市域の 87%を森林が占め、星空の世界遺産と呼ばれる「星空保護区」に認定された南六呂師エリアの星空、日本百名山の荒島岳など、自然に恵まれたまちである。



南六呂師エリアの星空

市街地には、「天空の城」として知られる越前大野城、名水百選の「御清水」、七間通り、寺町通りなど、風情あるまち並みが見られる。

助け合い、支え合いの心である「結（ゆい）の心」を大切に人々が生活している。

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
平成27年	33,109人	10,698世帯	872.43km ²	38.0/km ²	33.99%
令和2年	31,286人	10,868世帯	872.43km ²	35.9/km ²	37.48%

勝山市

勝山市は、中心を流れる九頭竜川、周辺を囲む1,000m級の山々、市内に生息する希少な動植物をはじめとした豊かな生態系、古くから盛んな農林業による美しい田園風景、歴史ある町家や神社仏閣など、豊かな自然と歴史ある伝統・文化にあふれたまちである。

市では恐竜を生かしたまちづくりを推進しており、国内最大級の地質・古生物学博物館である福井県立恐竜博物館がある長尾山総合公園を中心に、国史跡白山平泉寺旧境内やスキージャンプ勝山など周辺の魅力的な観光資源を活用し、観光の産業化に取り組んでいる。



かつやま恐竜の森

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
平成27年	24,125人	7,703世帯	253.88km ²	95.0/km ²	33.96%
令和2年	22,150人	7,524世帯	253.88km ²	87.2/km ²	37.36%

鯖江市

鯖江市は、眼鏡フレームの国内生産シェア9割以上を誇る国内随一の産地を支える「めがねのまち」であり、加えて、繊維産業や漆器産業など、眼鏡・繊維・漆器の三大地場産業を中心とした「ものづくりのまち」である。

近年では、これまで培ってきた技術を活かし、医療分野やウェアラブル分野等へ進出して裾野を広げるとともに、IT・デジタルコンテンツ等の新産業の創造など、産業分野の魅力を着実に高めている。

また、市民主役を掲げており、「市民力」の高さは鯖江の宝である。鯖江ならではの「市民力」を最大限に発揮できるよう、市民の方々が活躍する居場所づくりを進めることで、全ての人が暮らしやすく、いきいきと輝くまちづくりを進めている。



市民のみなさんによる活動報告会

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
平成27年	68,284人	22,335世帯	84.59km ²	807.2/km ²	26.17%
令和2年	68,302人	23,915世帯	84.59km ²	807.4/km ²	27.46%

あわら市

あわら市は、福井県の最北端に位置し、北は石川県加賀市に接している。北部には日本海と北潟湖、野菜や果樹の一大生産基地である北部丘陵地が広がっている。南部には平坦地が広がり、水稻のほか大麦や大豆、そばなどが栽培されている。

北陸新幹線開業を踏まえ、関西の奥座敷と称され福井県屈指の人気温泉地である「あわら温泉」を中心に市全域の賑わいづくりを進め、市民の活力があふれる「暮らしやすく幸せを実感できるまち」の実現を進めている。



あわら温泉

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
平成27年	28,729人	9,697世帯	116.98km ²	245.6/km ²	30.89%
令和2年	27,524人	9,933世帯	116.98km ²	235.3/km ²	33.97%

越前市

越前市は、文化財の保有数が県内トップで、歴史と文化を誇るまちとして発展を続けている。

かつて越前国の国府が置かれ、長い間、越前の中心として栄えてきた。伝統産業から先端産業まで幅広い産業が集積し、県下第一の製造品出荷額等を誇る産業都市として発展を続けている。

武生中央公園内に越前市アイシンスポーツアリーナと、本市出身の絵本作家、故かこさとし氏の監修による「だるまちゃん広場」などを整備し、賑わいを見せている。

生まれたばかりの子どもから、学生、社会人、高齢者に至るまで、それぞれの人生の各ステージにおいて、どこに住んでも、どんな境遇にあっても、幸福を実感できる「ふるさと」を目指している。



だるまちゃん広場

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
平成27年	81,524人	27,889世帯	230.70km ²	353.4/km ²	27.79%
令和2年	80,611人	29,634世帯	230.70km ²	349.4/km ²	29.45%

坂井市

坂井市は、平成 18 年 3 月に、三国町、丸岡町、春江町、坂井町が合併して誕生し、風光明媚な東尋坊や北陸唯一の現存天守丸岡城などに年間 500 万人が訪れる観光のまちである。

また市内に広がる坂井平野、坂井北部丘陵地、三里浜砂丘地は、県内随一の穀倉・園芸・畜産の産地である。

「ひと」「住みよさ」「多様性」の視点のもと、子育て環境の充実、若者世代への支援を重視したまちづくりに力を入れている。現在、一大観光地である東尋坊、丸岡城の歴史・観光を活かした拠点整備をすすめている。



東尋坊

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
平成27年	90,280人	29,454世帯	209.67km ²	430.6/km ²	26.30%
令和2年	88,481人	31,067世帯	209.67km ²	422.0/km ²	28.75%

永平寺町

永平寺町は、福井市に隣接し、県内最大の河川九頭竜川が中央を流れ、町内には九頭竜川に平行して国道 416 号線とえちぜん鉄道（勝山永平寺線）が走っている。西部にある福井北 JCT・IC を結節点として、北陸自動車道が南北に、中部縦貫自動車道が東西に通っている。

大本山永平寺や吉峰寺、松岡古墳群など多くの歴史文化資源が集積している。また、福井大学医学部、福井県立大学など学術研究機関なども立地している。



曹洞宗大本山 永平寺

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
平成27年	19,883人	7,276世帯	94.43km ²	210.6/km ²	27.45%
令和2年	18,965人	7,285世帯	94.43km ²	200.8/km ²	29.74%

池田町

池田町は福井県の南東部に位置し、南は岐阜県揖斐川町に接している。令和 5 年には国道の断絶区間がつながれ、中京圏と福井を結ぶ一般道の玄関口となった。

町土の約 92% を占める森林と豊富な水資源、その谷あいを埋める肥沃な田畑を活かし、100 年先へと続く森づくり、再生エネルギー資源の利用、地域資源循環型農業を実践し持続可能な町づくりに取り組んでいる。

鎌倉時代より現在も演じ続けられている「水海の田楽能舞」、各種古面が神社にまつられるなど能楽の里でもある。



田園風景

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
平成27年	2,638人	902世帯	194.65km ²	13.6/km ²	43.18%
令和2年	2,423人	948世帯	194.65km ²	12.4/km ²	44.49%

南越前町

南越前町は、平成 17 年 1 月、南条町、今庄町、河野村の合併により誕生。福井県のほぼ中央、嶺北地域の南端に位置し、北は越前市、越前町、池田町と、東及び南は岐阜県、滋賀県と、西は敦賀市と日本海に接する山・海・里の地形の変化に富んだ自然豊かな町である。

世界の花はす約 130 種類を鑑賞できる「花はす公園」や、重要伝統的建造物群保存地区に選定された今庄宿の町並み、日本遺産に認定された



花はす

北前船寄港地船主集落、旧北陸線トンネル群の鉄道遺産など、多くの歴史観光資源に恵まれている。

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
平成27年	10,799人	3,353世帯	343.69km ²	31.4/km ²	33.75%
令和2年	10,002人	3,266世帯	343.69km ²	29.1/km ²	37.66%

越前町

越前町は、平成 17 年 2 月に、朝日町・宮崎村・越前町・織田町の 4 町村が合併し、新生「越前町」として誕生。潮風が心地よい日本海の「海」に加え、懐かしい「土」の香りがする風土、優しい「里」が育んだ文化など、それぞれの特徴が合わさり、多彩な文化、多彩な風土を楽しめるまちである。

越前がにの最高級ブランド「極(きわみ)」や日本遺産に認定された六古窯の 1 つ「越前焼」、織田信長公が氏神で崇めた社「劔神社」、全国に名前を轟かせる「ホッケー」など県内でも特に魅力ある観光資源は町を輝かせている。

「人にやさしく地域にやさしいまちづくり」に沿って持続可能なまちづくりの実現に向けた取組を進めている。



越前がに極

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
平成27年	21,538人	6,560世帯	153.15km ²	140.6/km ²	31.36%
令和2年	20,118人	6,581世帯	153.15km ²	131.4/km ²	35.67%

4 取組期間

令和6年度(2024年度)から令和10年度(2028年度)までの5年間とする。

第2章 ふくい嶺北連携中枢都市圏の概況

1 人口

(1) 将来推計人口

総人口の推移

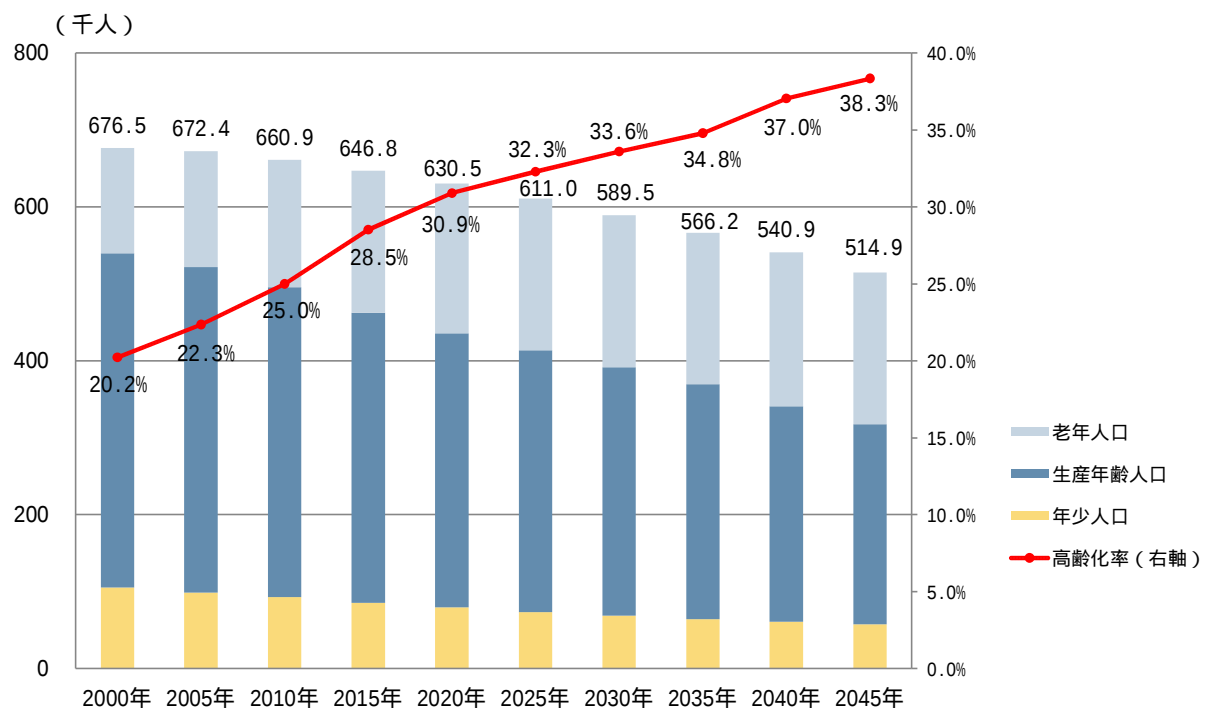
本圏域の総人口は2000年(平成12年)の67.6万人をピークに減少が始まっており、2020年(令和2年)には63.1万人となっている。国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)の推計では、今後も減少が続き、2045年(令和27年)には51.5万人と、2020年(令和2年)と比べて18.4%減少すると予想されている。

年齢階級別人口の推移

年少人口(0～14歳)、消費や労働の中心となる生産年齢人口(15～64歳)は減少を続けており、総人口に占める割合も、2045年(令和27年)には2020年(令和2年)と比べて、それぞれ1.4ポイント減の11.2%、6.1ポイント減の50.4%になることが予想されている。

一方で、高齢化率(総人口に占める老年人口(65歳以上)の割合)は、2045年には2020年と比べて7.4ポイント増の38.3%になることが予想されている。

図表 圏域の人口と高齢化率の推移(社人研推計含む)



(2) 市町別の人口推移

図表 市町別の人口・年齢階級別人口割合の推移

		2015年	2025年	2035年	2045年	15～45年増減
福井市	総人口	265,904	260,283	249,301	234,380	▲ 11.9%
	(年少人口割合)	(13.1%)	(12.0%)	(11.4%)	(11.4%)	▲ 1.7pt
	(生産年齢人口割合)	(58.8%)	(56.6%)	(54.7%)	(51.2%)	▲ 7.6pt
	(老年人口割合)	(28.1%)	(31.3%)	(33.8%)	(37.4%)	+ 9.3pt
大野市	総人口	33,109	28,568	24,093	19,743	▲ 40.4%
	(年少人口割合)	(11.4%)	(10.6%)	(10.1%)	(9.8%)	▲ 1.6pt
	(生産年齢人口割合)	(54.6%)	(49.9%)	(48.3%)	(46.5%)	▲ 8.1pt
	(老年人口割合)	(34.0%)	(39.5%)	(41.7%)	(43.7%)	+ 9.7pt
勝山市	総人口	24,125	21,368	18,498	15,578	▲ 35.4%
	(年少人口割合)	(11.4%)	(10.6%)	(9.9%)	(9.5%)	▲ 1.9pt
	(生産年齢人口割合)	(54.6%)	(49.5%)	(48.6%)	(46.4%)	▲ 8.2pt
	(老年人口割合)	(34.0%)	(39.9%)	(41.5%)	(44.1%)	+ 10.1pt
鯖江市	総人口	68,284	68,475	66,836	63,912	▲ 6.4%
	(年少人口割合)	(15.0%)	(13.7%)	(12.9%)	(12.7%)	▲ 2.3pt
	(生産年齢人口割合)	(58.8%)	(57.7%)	(56.6%)	(52.7%)	▲ 6.1pt
	(老年人口割合)	(26.2%)	(28.6%)	(30.5%)	(34.6%)	+ 8.4pt
あわら市	総人口	28,729	25,729	22,573	19,306	▲ 32.8%
	(年少人口割合)	(11.5%)	(10.6%)	(10.0%)	(10.0%)	▲ 1.5pt
	(生産年齢人口割合)	(57.6%)	(53.7%)	(51.4%)	(48.8%)	▲ 8.8pt
	(老年人口割合)	(30.9%)	(35.7%)	(38.6%)	(41.2%)	+ 10.3pt
越前市	総人口	81,524	73,577	65,075	56,254	▲ 31.0%
	(年少人口割合)	(13.4%)	(12.1%)	(11.3%)	(11.2%)	▲ 2.2pt
	(生産年齢人口割合)	(58.7%)	(55.5%)	(53.2%)	(48.9%)	▲ 9.8pt
	(老年人口割合)	(27.8%)	(32.4%)	(35.5%)	(39.9%)	+ 12.1pt
坂井市	総人口	90,280	85,336	79,138	71,802	▲ 20.5%
	(年少人口割合)	(14.2%)	(12.5%)	(11.6%)	(11.4%)	▲ 2.8pt
	(生産年齢人口割合)	(59.5%)	(56.8%)	(54.4%)	(50.7%)	▲ 8.8pt
	(老年人口割合)	(26.3%)	(30.7%)	(33.9%)	(37.9%)	+ 11.6pt
永平寺町	総人口	19,883	18,116	16,185	14,308	▲ 28.0%
	(年少人口割合)	(12.3%)	(10.6%)	(10.4%)	(10.5%)	▲ 1.8pt
	(生産年齢人口割合)	(60.3%)	(58.3%)	(55.6%)	(52.3%)	▲ 8.0pt
	(老年人口割合)	(27.4%)	(31.0%)	(34.0%)	(37.2%)	+ 9.8pt
池田町	総人口	2,638	2,003	1,530	1,137	▲ 56.9%
	(年少人口割合)	(8.1%)	(7.6%)	(7.5%)	(6.9%)	▲ 1.2pt
	(生産年齢人口割合)	(48.7%)	(44.1%)	(40.9%)	(39.1%)	▲ 9.6pt
	(老年人口割合)	(43.2%)	(48.2%)	(51.6%)	(54.0%)	+ 10.8pt
南越前町	総人口	10,799	9,220	7,758	6,329	▲ 41.4%
	(年少人口割合)	(12.3%)	(11.6%)	(10.3%)	(9.5%)	▲ 2.8pt
	(生産年齢人口割合)	(53.9%)	(49.8%)	(48.7%)	(47.1%)	▲ 6.8pt
	(老年人口割合)	(33.8%)	(38.7%)	(41.0%)	(43.5%)	+ 9.7pt
越前町	総人口	21,538	18,299	15,180	12,121	▲ 43.7%
	(年少人口割合)	(12.7%)	(10.7%)	(9.5%)	(8.8%)	▲ 3.9pt
	(生産年齢人口割合)	(55.9%)	(51.6%)	(48.1%)	(44.0%)	▲ 11.9pt
	(老年人口割合)	(31.4%)	(37.7%)	(42.4%)	(47.2%)	+ 15.8pt
圏域合計	総人口	646,813	610,974	566,167	514,870	▲ 20.4%
	(年少人口割合)	(13.2%)	(12.0%)	(11.3%)	(11.2%)	▲ 2.0pt
	(生産年齢人口割合)	(58.3%)	(55.7%)	(53.9%)	(50.4%)	▲ 7.9pt
	(老年人口割合)	(28.5%)	(32.3%)	(34.8%)	(38.3%)	+ 9.8pt

資料：総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

2 産業

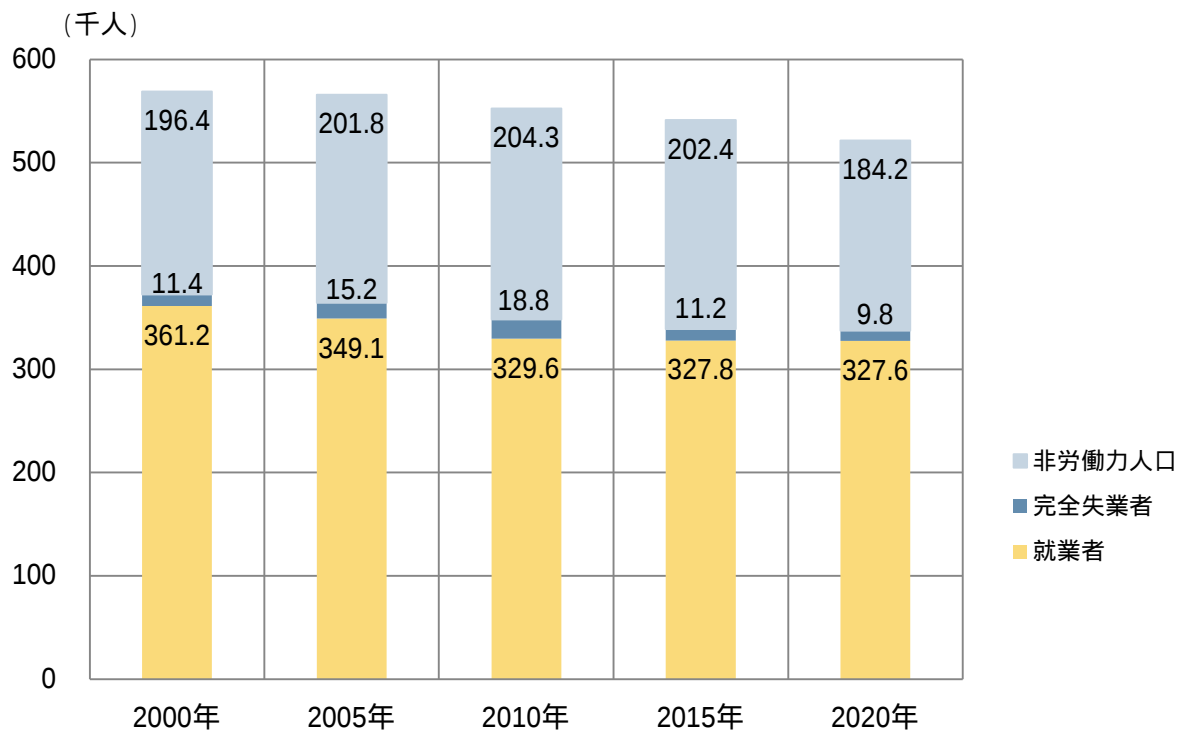
(1) 雇用の状況

労働力人口等の推移

本圏域の労働力の状況を見ると、「労働力人口」は減少が続いており、2000年（平成12年）から2020年（令和2年）までの20年間で約9.4%減少している。

人口減少や少子高齢化の進行に伴い労働力の確保が大きな課題となる中、引き続き、若い世代をはじめ女性や高齢者などの活躍を促進するとともに、少子化の流れに歯止めをかけるためにも、男女がともに子育てをしながら働きやすい環境づくりを進めていく必要がある。

図表 圏域の労働力人口等の推移



資料：総務省「国勢調査」

(注) 国勢調査では、「労働力状態」として、15歳以上の人について、調査期間に「仕事をしたかどうかの別」により、次のとおり区分している。

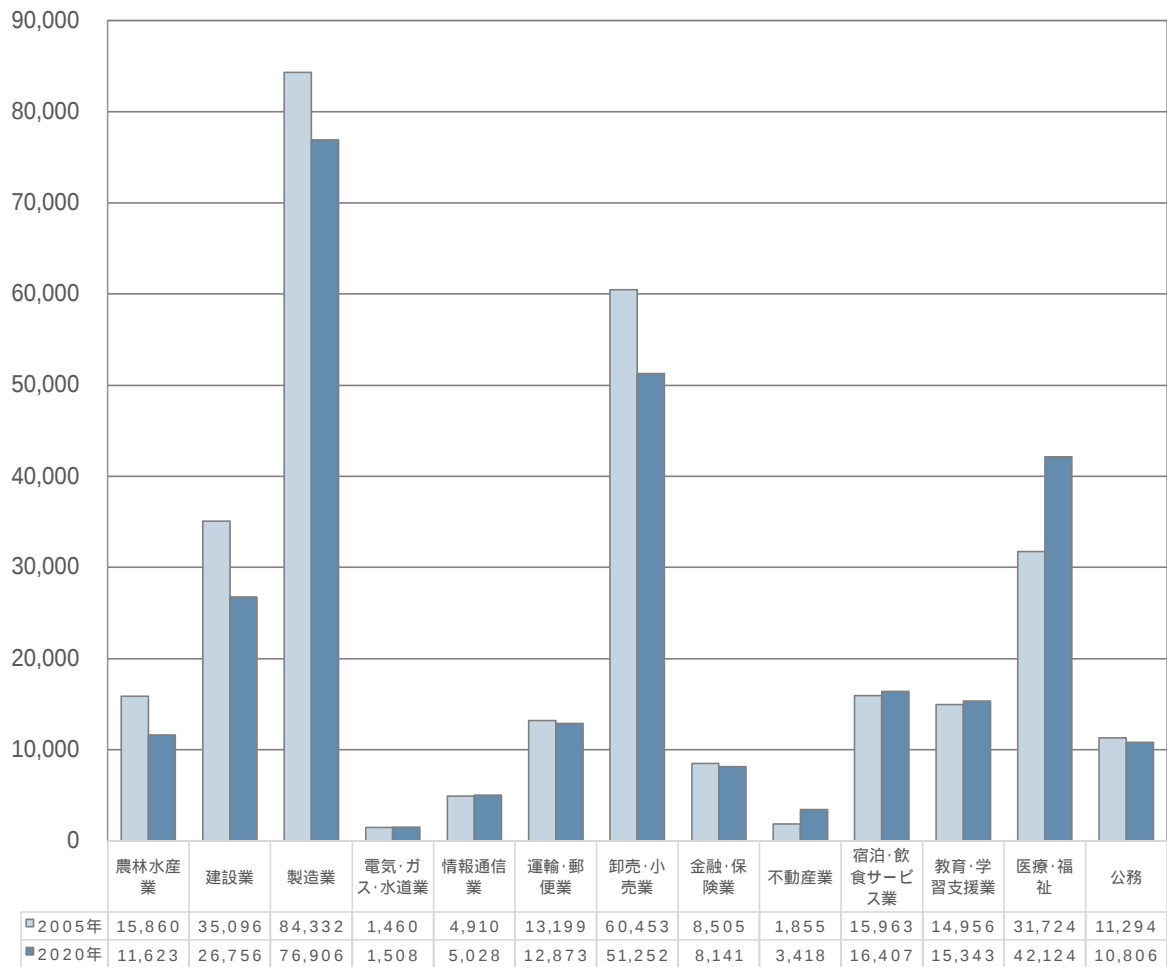
「労働力人口」 { 「就業者」 調査期間中、収入になる仕事を少しでもした人、休業者
「完全失業者」 調査期間中、収入になる仕事を少しもしなかった人のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ積極的に仕事を探していた人
「非労働力人口」 調査期間中、収入を伴う仕事を少しもしなかった人のうち、休業者及び完全失業者以外の人

産業別就業者数の推移

2005年(平成17年)から2020年(令和2年)までの15年間の産業別就業者数の推移を見ると、農林水産業では約27%、建設業では約24%、卸売・小売業では約15%減少している。

一方で、医療・福祉の分野では約33%増加しているが、今後も高齢化が進行し、更なるニーズの高まりが予想されるため、圏域全体における人材の育成など、適切な対応が求められている。

図表 圏域の産業別就業者の推移



資料：総務省「国勢調査」

(2) 農林水産業の状況

農業

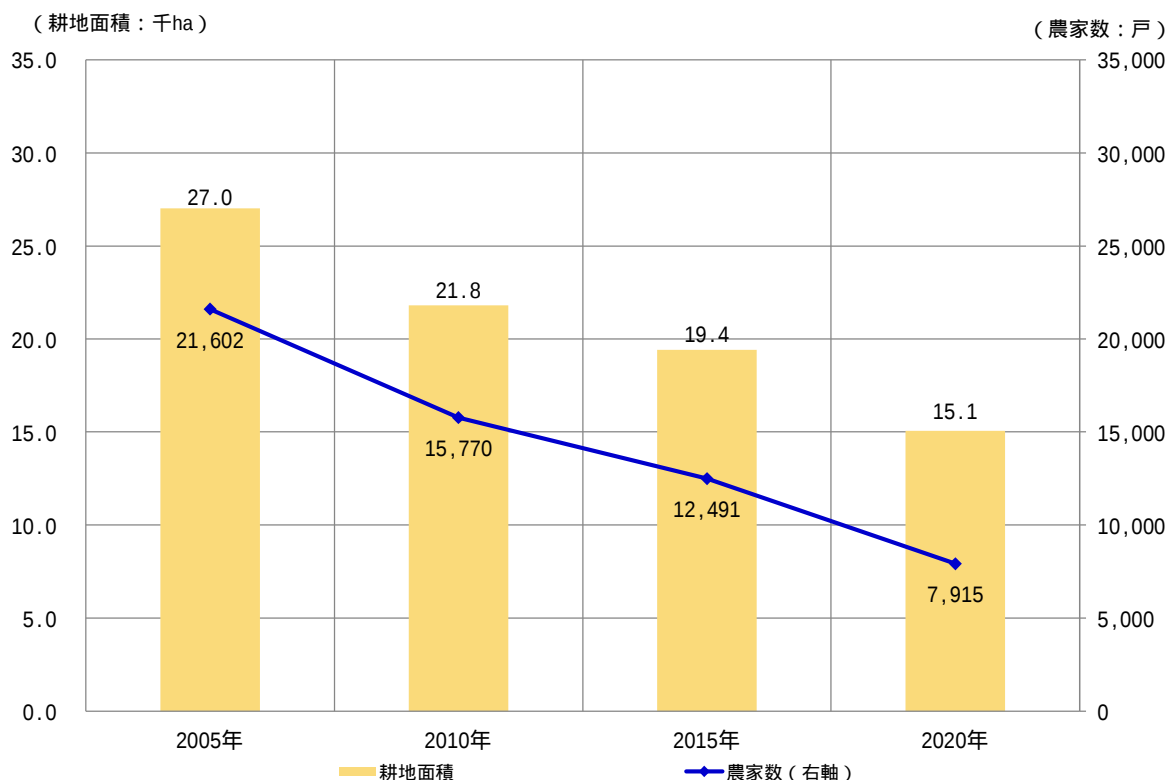
2005年(平成17年)から2020年(令和2年)までの15年間の推移を見ると、本圏域の農家数は高齢化や後継者不足などを原因として減少が続いており、21,602戸から7,915戸に約63%減少している。また、それに伴い耕地面積も、27,009haから15,062haに約44%減少している。

また、2017年(平成29年)から2021年(令和3年)までの5年間の農業算出額は、410.0億円から339.5億円に約17%減少している。

農業分野は、担い手の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等、厳しい環境に置かれていることから、引き続き圏域内のそれぞれの強みを発揮し、新規就農の促進を図るとともに、農業DXの推進等により、生産効率の向上やコスト削減を図っていく必要がある。

ア 耕地面積・農家数の推移

図表 圏域の耕地面積・農家数の推移



資料：農林水産省「農業センサス」、福井県「県統計年鑑(農業)」

(注) 「耕地面積」は、販売農家の経営耕地面積を指す。

「農家数」は、販売農家数を指す。

イ 市町別の耕地面積・農家数

図表 市町別の耕地面積・農家数（2020年）

	耕地面積		農家数	
		（構成比）		（構成比）
福井市	3,577ha	(23.7%)	2,179戸	(27.5%)
大野市	2,120ha	(14.1%)	881戸	(11.1%)
勝山市	885ha	(5.9%)	550戸	(6.9%)
鯖江市	979ha	(6.5%)	412戸	(5.2%)
あわら市	1,022ha	(6.8%)	445戸	(5.6%)
越前市	1,691ha	(11.2%)	1,122戸	(14.2%)
坂井市	3,189ha	(21.2%)	1,311戸	(16.6%)
永平寺町	336ha	(2.2%)	253戸	(3.2%)
池田町	176ha	(1.2%)	110戸	(1.4%)
南越前町	586ha	(3.9%)	228戸	(2.9%)
越前町	501ha	(3.3%)	424戸	(5.4%)
圏域合計	15,062ha	(100.0%)	7,915戸	(100.0%)

資料：農林水産省「農林業センサス」

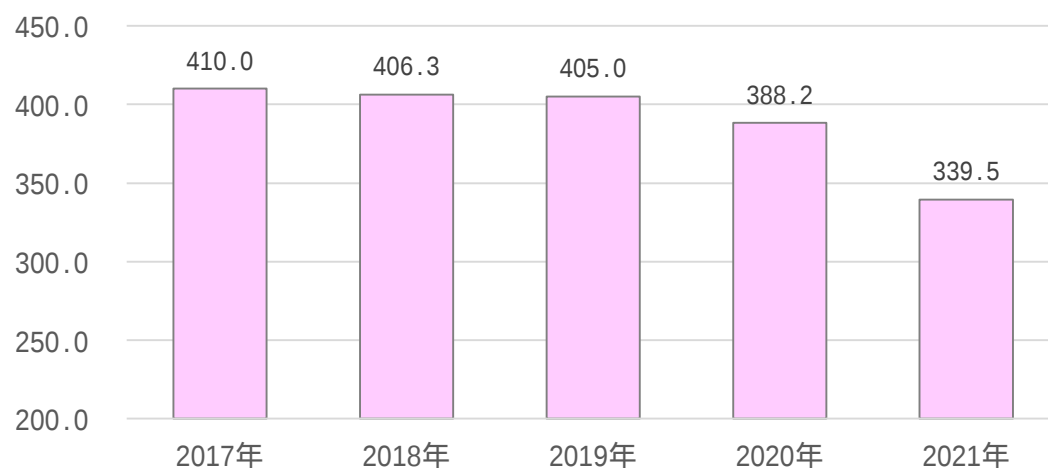
（注）「耕地面積」は、販売農家の経営耕地面積を指す。

「農家数」は、販売農家数を指す。

ウ 圏域の農業算出額

図表 圏域の農業算出額

（億円）



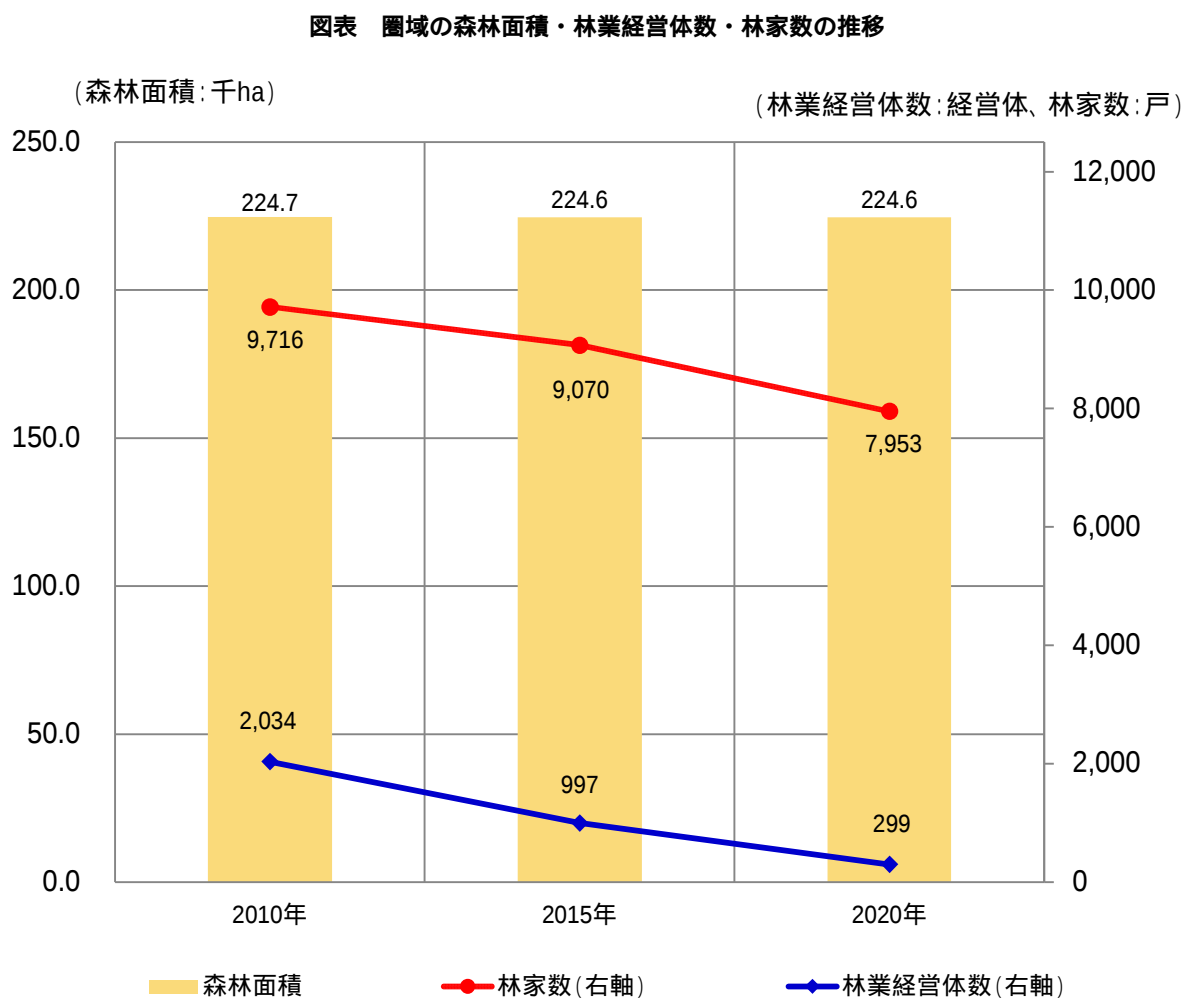
資料：農林水産省「農林業センサス」

林業

2010年(平成22年)から2020年(令和2年)までの10年間の推移を見ると、本圏域の林業経営体数、林家数は高齢化や後継者不足などを原因として減少が続いており、林業経営体数は2,034経営体から299経営体に約85%、林家数については9,716戸から7,953戸に約18%減少している。

林業分野も農業分野と同様、担い手の高齢化、放置される森林の増加等、厳しい環境に置かれていることから、新規就業者の確保及び育成が重要となる。

ア 森林面積・林業経営体数・林家数の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」、福井県「県統計年鑑(林業)」

イ 市町別の森林面積・林業経営体数・林家数

図表 市町別の森林面積・林業経営体数・林家数（2020年）

	森林面積		林業経営体数		林家数	
		（構成比）		（構成比）		（構成比）
福井市	31,943ha	(14.2%)	119経営体	(39.8%)	2,186戸	(27.5%)
大野市	75,825ha	(33.8%)	43経営体	(14.4%)	782戸	(9.8%)
勝山市	20,181ha	(9.0%)	14経営体	(4.7%)	616戸	(7.7%)
鯖江市	3,148ha	(1.4%)	3経営体	(1.0%)	299戸	(3.8%)
あわら市	4,441ha	(2.0%)	7経営体	(2.3%)	286戸	(3.6%)
越前市	14,186ha	(6.3%)	23経営体	(7.7%)	1,017戸	(12.8%)
坂井市	7,362ha	(3.3%)	35経営体	(11.7%)	282戸	(3.5%)
永平寺町	6,865ha	(3.0%)	3経営体	(1.0%)	550戸	(6.9%)
池田町	17,847ha	(7.9%)	11経営体	(3.7%)	326戸	(4.1%)
南越前町	31,453ha	(14.0%)	17経営体	(5.7%)	967戸	(12.2%)
越前町	11,385ha	(5.1%)	24経営体	(8.0%)	642戸	(8.1%)
圏域合計	224,636ha	(100.0%)	299経営体	(100.0%)	7,953戸	(100.0%)

資料：農林水産省「農林業センサス」、福井県「県統計年鑑（林業）」

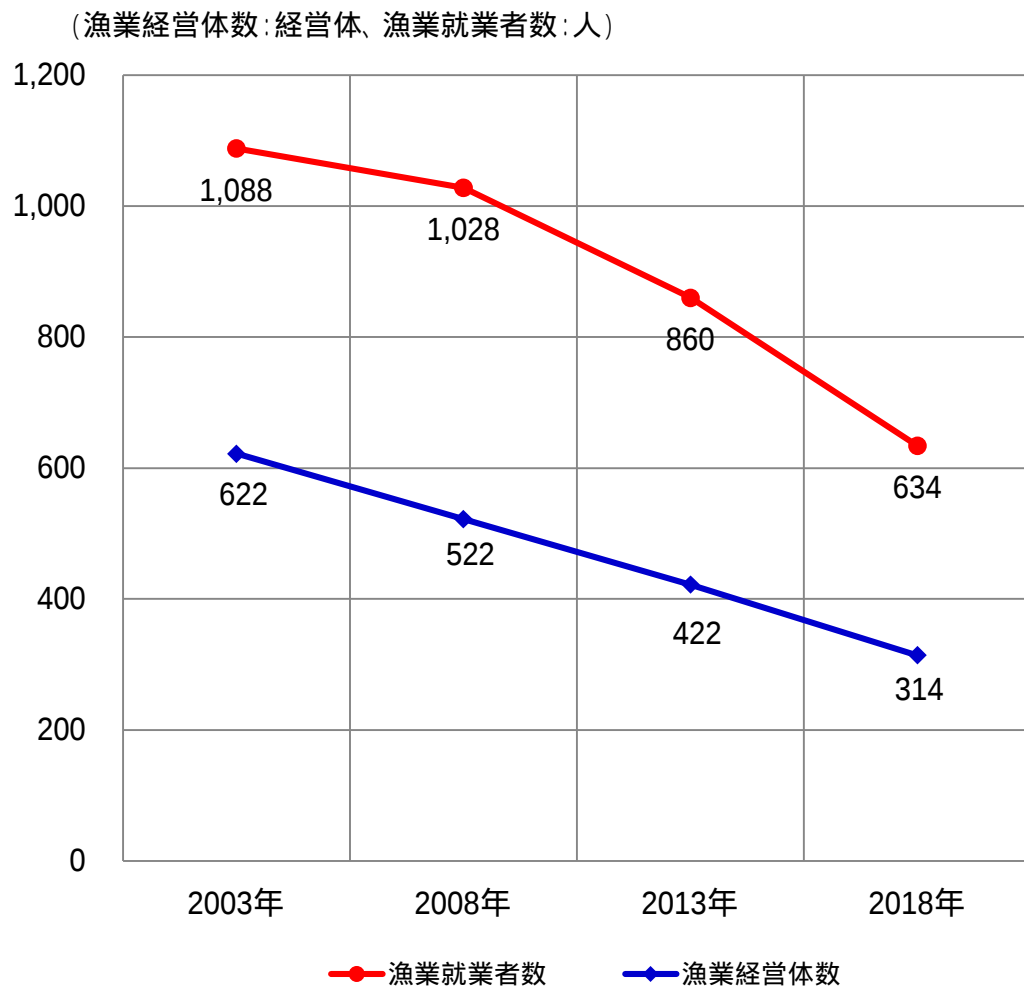
水産業

2003年(平成15年)から2018年(平成30年)までの15年間の推移を見ると、本圏域の漁業経営体数、漁業就業者数は高齢化や後継者不足などを原因として、減少が続いており、漁業経営体数は622経営体から314経営体に約50%、漁業就業者数については1,088人から634人に約42%減少している。

水産業分野も農業・林業分野と同様、担い手の高齢化、漁業生産額の減少等、厳しい環境に置かれていることから、新規就業者の確保及び育成が重要となる。

ア 漁業経営体数・漁業就業者数の推移

図表 圏域の漁業経営体数・漁業就業者数の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」

イ 市町別の漁業経営体数・漁業就業者数

図表 市町別の漁業経営体数・漁業就業者数（2018 年）

	漁業経営体数		漁業就業者数	
		（ 構成比 ）		（ 構成比 ）
福 井 市	77経営体	（ 24.5% ）	114人	（ 18.0% ）
あわら市	35経営体	（ 11.1% ）	42人	（ 6.6% ）
坂 井 市	68経営体	（ 21.7% ）	122人	（ 19.2% ）
南越前町	44経営体	（ 14.0% ）	90人	（ 14.2% ）
越 前 町	90経営体	（ 28.7% ）	266人	（ 42.0% ）
圏域合計	314経営体	（ 100.0% ）	634人	（ 100.0% ）

資料：農林水産省「漁業センサス」

(3) 工業・商業の状況

工業

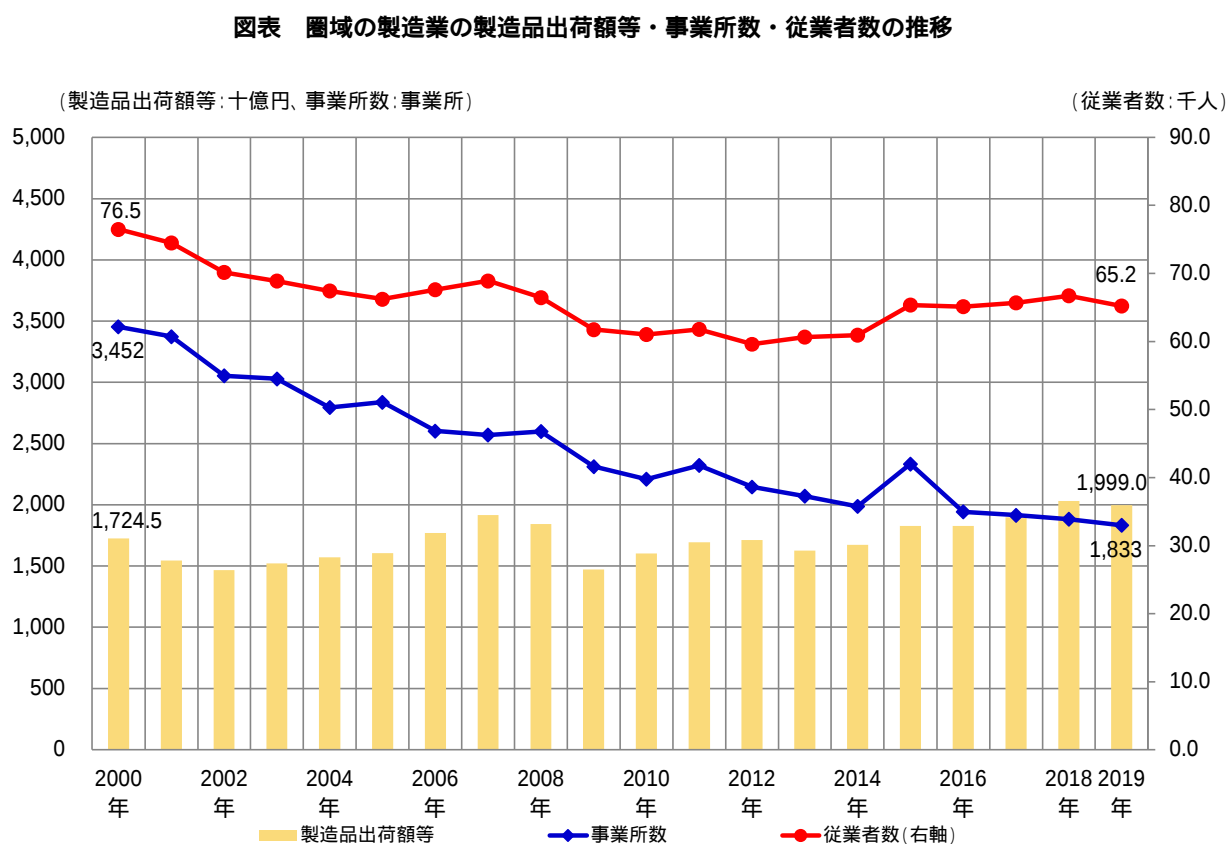
圏域内の企業は、全体的に規模が小さく、顧客ニーズに対し、柔軟かつきめ細やかな対応が可能である点が強みと言える。

2000年(平成12年)から2019年(令和元年)までの20年間の推移を見ると、本圏域の事業所数は約47%、従業員数は約15%減少している一方で、製造品出荷額等は、1.5兆～2.0兆円を維持している。

製造業の地域構成は、2019年(令和元年)の圏域内の製造品出荷額1.9兆円のうち約70%を福井市、越前市、坂井市で占めている。福井市は繊維・化学、越前市は電子部品・電気機械器具、坂井市は非鉄金属といった製造業の特性を有している。

今後、人口減少に伴う後継者不足への対応が急務であり、DXの推進による生産の効率化やブランド力の強化による高収益化を図ることで、担い手育成を進めていく必要がある。

ア 製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移



資料：経済産業省「工業統計調査」、福井県「福井県の工業（経済センサス-活動調査 製造業に関する結果報告書）」

イ 市町別の製造業の製造品出荷額等・事業所数・従業者数

図表 市町別の製造業の製造品出荷額等・事業所数・従業者数（2019 年）

	製造品出荷額等		事業所数		従業者数	
		(構成比)		(構成比)		(構成比)
福井市	4,604億円	(23.0%)	557事業所	(30.4%)	17,511人	(26.8%)
大野市	602億円	(2.9%)	79事業所	(4.3%)	2,523人	(3.9%)
勝山市	603億円	(3.0%)	62事業所	(3.4%)	2,218人	(3.5%)
鯖江市	2,064億円	(10.3%)	342事業所	(18.7%)	9,550人	(14.6%)
あわら市	1,857億円	(9.3%)	76事業所	(4.1%)	4,330人	(6.6%)
越前市	6,489億円	(32.5%)	286事業所	(15.6%)	16,272人	(24.9%)
坂井市	3,038億円	(15.2%)	310事業所	(16.9%)	9,524人	(14.6%)
永平寺町	150億円	(0.8%)	48事業所	(2.6%)	970人	(1.5%)
池田町	15億円	(0.1%)	9事業所	(0.5%)	159人	(0.2%)
南越前町	109億円	(0.5%)	13事業所	(0.7%)	431人	(0.7%)
越前町	458億円	(2.3%)	51事業所	(2.8%)	1,746人	(2.7%)
圏域合計	19,990億円	(100.0%)	1,833事業所	(100.0%)	65,234人	(100.0%)

資料：経済産業省「工業統計調査」、福井県「福井県の工業（経済センサス-活動調査 製造業に関する結果報告書）」

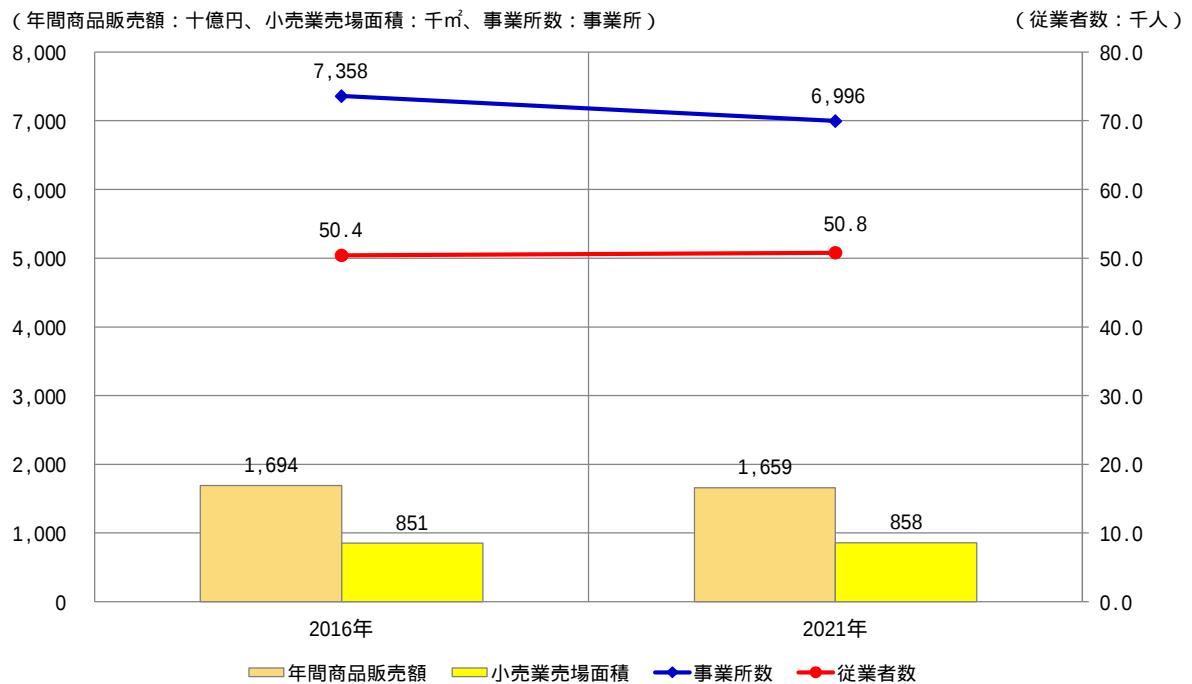
商業

2016年(平成28年)から2021年(令和3年)までの6年間の推移を見ると、本圏域の事業所数については約5%減少している一方で、年間商品販売額、小売業売場面積及び従業者数については、ほぼ横ばいで推移している。

商業分野においても、後継者不足への対応が急務であり、今後も引き続き、福井県事業承継・引継ぎ支援センター等の関係機関と連携しながら、事業の維持・拡大及び地域の活性化を支援していく必要がある。

ア 卸売・小売業の年間商品販売額・事業所数・従業者数及び小売業売場面積の推移

図表 圏域の卸売・小売業の年間商品販売額・事業所数・従業者数及び小売業売場面積の推移



資料：経済産業省「経済センサス」(2016年、2021年)

イ 市町別の卸売・小売業の年間商品販売額・事業所数及び従業者数

図表 市町別の卸売・小売業の年間商品販売額・事業所数・従業者数及び小売業売場面積（2021 年）

	年間商品販売額		事業所数		従業者数		小売業売場面積	
		(構成比)		(構成比)		(構成比)		(構成比)
福 井 市	11,321億円	(68.3%)	3,374事業所	(48.2%)	27,581人	(54.3%)	414千㎡	(48.3%)
大 野 市	320億円	(1.8%)	347事業所	(5.0%)	1,819人	(3.6%)	39千㎡	(4.6%)
勝 山 市	201億円	(1.2%)	227事業所	(3.2%)	1,126人	(2.3%)	24千㎡	(2.9%)
鯖 江 市	1,257億円	(7.6%)	650事業所	(9.3%)	5,058人	(10.0%)	89千㎡	(10.4%)
あわら市	322億円	(1.9%)	247事業所	(3.5%)	1,412人	(2.8%)	20千㎡	(2.3%)
越 前 市	1,494億円	(9.0%)	952事業所	(13.6%)	5,968人	(11.8%)	133千㎡	(15.5%)
坂 井 市	1,314億円	(7.9%)	771事業所	(11.0%)	5,504人	(10.8%)	104千㎡	(12.1%)
永平寺町	147億円	(0.9%)	127事業所	(1.8%)	846人	(1.7%)	11千㎡	(1.3%)
池 田 町	7億円	(0.0%)	25事業所	(0.4%)	101人	(0.2%)	1千㎡	(0.1%)
南越前町	52億円	(0.3%)	64事業所	(0.9%)	335人	(0.7%)	6千㎡	(0.7%)
越 前 町	150億円	(0.9%)	212事業所	(3.0%)	1,008人	(2.0%)	17千㎡	(2.0%)
圏域合計	16,586億円	(100.0%)	6,996事業所	(100.0%)	50,758人	(100.0%)	857千㎡	(100.0%)

資料：経済産業省「経済センサス」（2021 年）

3 観光・文化

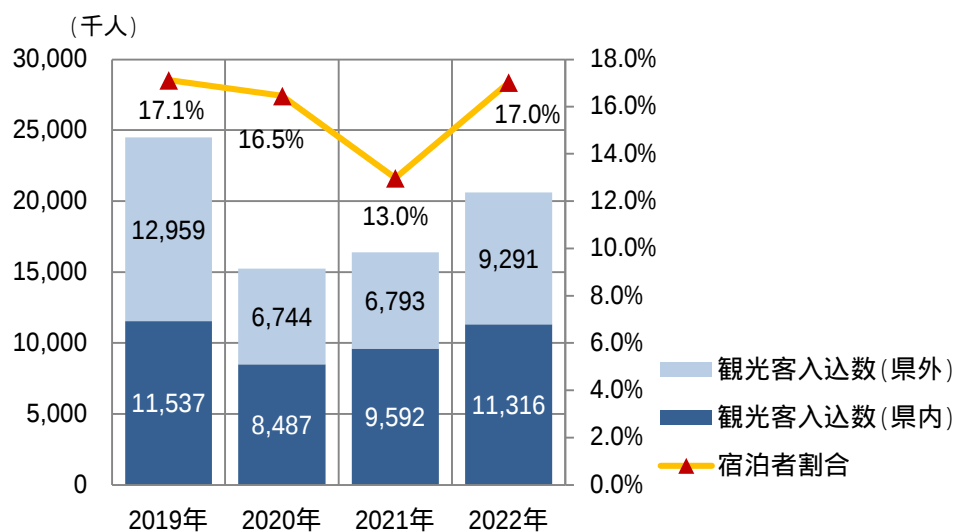
(1) 観光客入込数

観光客入込数・宿泊者割合の推移

新型コロナウイルス感染症の拡大により、本圏域における観光客入込数は落ち込み、特に、2020年（令和2年）は、前年比37.8%の大幅減となった。以降、徐々にではあるが、回復傾向が見られ、観光客数に対する宿泊者の割合も、コロナ禍前の水準に戻りつつあるものの、依然として圏域における観光の形態は、通過型観光が主になっていると言える。

滞在時間が短いと観光消費額が伸びず、地域経済活性への効果が限定的になるため、北陸新幹線福井開業や中部縦貫自動車道県内開通の効果を活かし、JRの主要駅から観光地への二次交通の充実や観光地同士を結ぶストーリー性のある観光ルートの提案、宿泊の促進などにより、周遊滞在型観光への転換の推進が求められる。

図表 圏域の観光客入込数・宿泊者割合の推移（延べ人数）



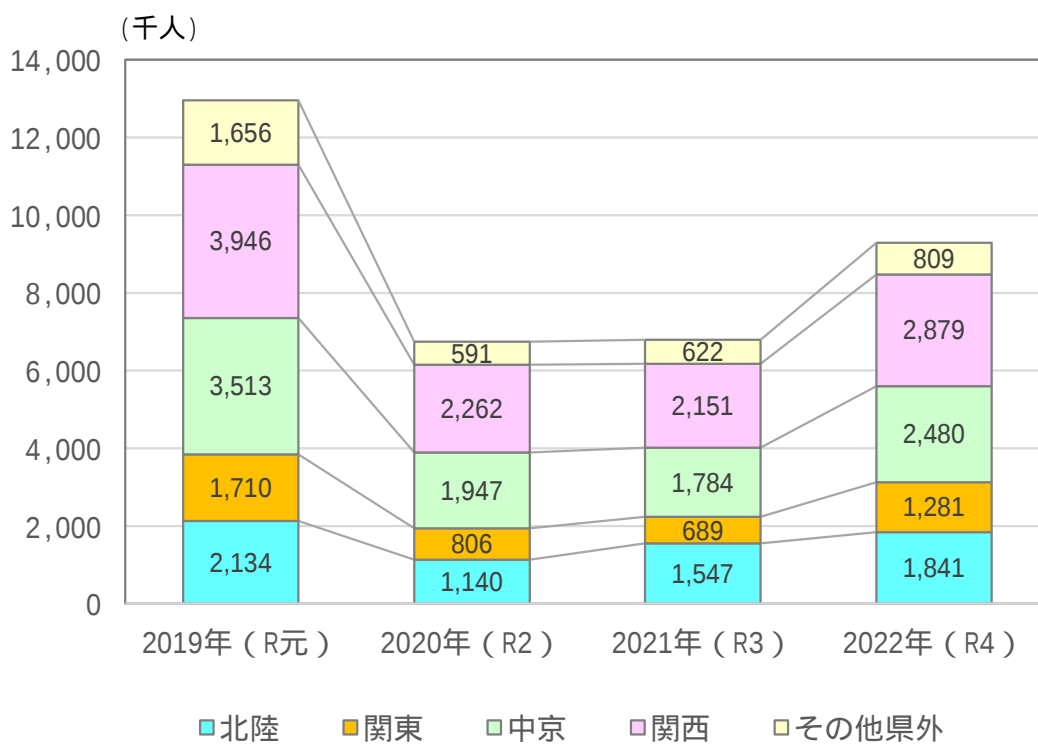
資料：福井県「福井県観光客入込数（推計）」

発地別観光客入込数の推移

本圏域における発地別観光客入込数の推移を見ると、関西圏、中京圏からの観光客が占める割合が多い。

今後、北陸新幹線福井開業や中部縦貫自動車道県内開通、また、大阪・関西万博の開催等を見据え、関東、中京、関西各圏に向けてのプロモーションをより一層強化する必要がある。

図表 圏域の発地別観光客入込数の推移（延べ人数）



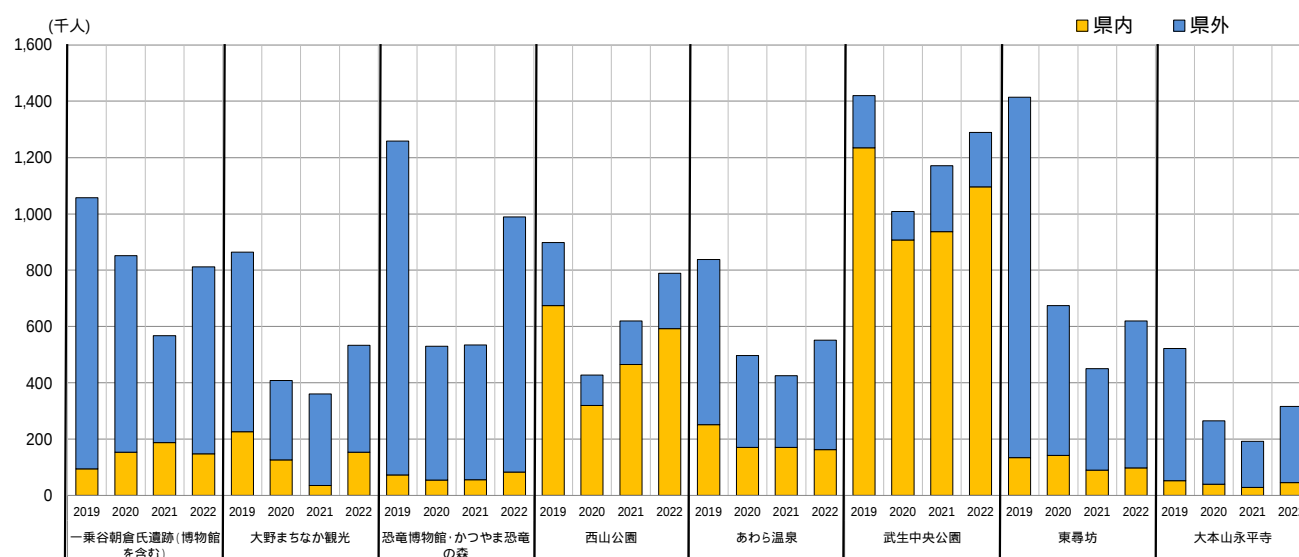
資料：福井県「福井県観光客入込数（推計）」

(2) 主要観光地別観光客数の推移

2019年(令和元年)から2021年(令和3年)にかけて、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、圏域内の主要な観光地への入込客数はいずれも大きく落ち込んだ。

今後は、観光客数が徐々に回復していくとみられるため、引き続き、圏域内における観光資源の連携強化を図りながら魅力を発信し、県内外から観光客を誘客する方策の検討が必要である。

図表 主要観光地別観光客数の推移(延べ人数)



資料：福井県「福井県観光客入込数(推計)」

(3) 主な観光名所・旧跡・文化財等

図表 圏域の主な観光名所・旧跡・文化財等

市町名	主な観光名所、旧跡、文化財等
福 井 市	一乗谷朝倉氏遺跡、一乗谷朝倉氏庭園、養浩館庭園、免鳥長山古墳、越前海岸、福井城址、セーレンブラネット、足羽山、北の庄城址・柴田公園、グリフィス記念館、足羽川の桜並木、愛宕坂、丹巖洞、大安禅寺、コスモス広苑、絹本著色 羅漢図、木造十一面観音菩薩立像、鉄製銀象嵌冑、五智如来、糸崎の仏舞、睦月神事、国山神事
大 野 市	越前大野城、民俗資料館、歴史博物館、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、宝慶寺、くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ、御清水(名水百選)、本願清水(平成の名水百選)、本願清水イトヨの里、旧橋本家住宅、専福寺の大ケヤキ、朝倉義景墓所、平成大野屋、荒島岳(日本百名山)、刈込池、九頭竜峡、寺町通り、六呂師高原、福井和泉スキー場、九頭竜湖、化石発掘体験センターHOROSSA!、COCONOアートブレイス、道の駅「越前おおの 荒島の郷」、道の駅「九頭竜」、スターランドさかだに、福井県自然保護センター、ミルク工房奥越前、九頭竜スキー場、平家平、越前おおの結ステーション
勝 山 市	越前大仏、勝山温泉センター「水芭蕉」、平泉寺白山神社、白山平泉寺歴史探遊館まほろば、弁天桜、県立恐竜博物館、東山いこいの森、勝山城博物館、弁ヶ滝、岩屋観音、スキージャム勝山、はたや記念館 ゆめおーれ勝山、加越国境と取立山「水芭蕉群生地」、史跡白山平泉寺旧境内、旧木下家住宅、藩校「旧成器堂講堂」外3棟、えちぜん鉄道勝山駅本屋・ホーム待合所、旧料亭花月楼、七里壁、三室遺跡、勝山左義長、道の駅「恐竜渓谷かつやま」
鯖 江 市	西山公園、めがねミュージアム、鯖江市越前漆器伝統産業会館、ラボーゼかわだ、本山誠照寺、本山證誠寺、萬慶寺、王山古墳群、兜山古墳、木地屋資料、旧瓜生家住宅、春日神社本殿、鳥ヶ森社叢、加多志波神社の追儼面と木造聖観音菩薩立像、日吉神社の相生の大杉、鯖江藩家老植田家長屋門、舟津神社本殿、神明社中雀門、上河内の薄墨桜、薬師堂古樹林、三峯城跡、三床山城跡
あわら市	あわら温泉、芦湯(足湯)、セントピアあわら、あわら温泉屋台村 湯けむり横丁、藤野徹九郎記念館、越前加賀海岸国定公園、北潟湖畔花菖蒲園、北潟湖畔公園、夢ぐるま公園、刈安山森林自然公園、金津創作の森美術館、あわら市郷土歴史資料館、桑野遺跡出土品、吉崎御坊跡、越前加賀県境の館、横山古墳群、棚古墳(石室)、千束一里塚、本荘春日神社本殿、紙本著色法然上人図像(福円寺)、絹本著色梅山閣本禅師像(龍澤寺)、絹本著色龍澤寺三祖像(龍澤寺)、武曾信濃守勝融像(日源寺)、木造執金剛神像(安楽寺)、石造狛犬(永正十二年銘)、どっしゃどっしゃ踊り、多賀谷左近三経公墓所
越 前 市	越前そばの里、しきぶ温泉湯楽里、かこさとしふるさと絵本館、ちひろの生まれた家記念館、御誕生寺、毫撰寺、龍泉寺、引接寺、正覚寺、龍門寺、大塩八幡宮、大虫神社、大滝神社、成願寺、旧谷口家住宅、越前和紙の里(紙の文化博物館・卯立の工芸館・パピルス館)、城福寺、小丸城跡、野々宮廃寺跡、茶臼山古墳群、大虫廃寺塔跡、越前の里味真野苑、武生中央公園、紫式部公園、花筐公園、小次郎公園、ハッ杉自然公園、岡太神社、聖徳太子堂、武生公会堂記念館、蔵の辻、万葉菊花園、タケフナイフビレッジ、養脇の時水、コウノトリ、アベサンショウウオ
坂 井 市	越前加賀海岸国定公園(東尋坊、雄島、越前松島)、越前松島水族館、芝政ワールド、三国温泉ゆあばーと、三国湊町(旧森田銀行本店、旧岸名家、マチノクラ)、瀧谷寺の金銅毛彫宝相華唐草文馨、三国港突堤、三国神社、みくに龍翔館、丸岡城、坪川家住宅、六呂瀬山古墳群、新田義貞公墓所、中野重治記念文庫、竹田水車メロディーパーク、一筆啓上 日本一短い手紙の館、福井県総合グリーンセンター、藤簾塚のフジ、エンゼルランドふくい、文化の森、ゆりの里公園、大善寺の金剛孔雀文馨、春日神社の黒仏
永平寺町	曹洞宗大本山永平寺、道の駅「禅の里」、永平寺温泉「禅の里」、永平寺町魅力発信交流施設「えい坊館」、手繰ヶ城山古墳、石舟山古墳、鳥越山古墳、二本松山古墳、波多野城跡、春日山古墳、東諏訪間一号墳、志比線刻磨崖仏、芭蕉塚、島の宝篋印塔、吉峰寺、白山遙拝松と舟渡跡、火薬局跡碑、大廻り史跡、天龍寺、赤井家高麗門、弁財天白龍王大権現
池 田 町	ツリービクニックアドベンチャーいけだ、道のオアシスフォーシーズンテラス、WOOD LABO IKEDA、あそびハウスこどもと森、おもちゃハウスこどもと木、かずら橋、須波阿須疑神社、冠山、部子山、龍双ヶ滝、稲荷の大杉、堀口家住宅、水海の田楽・能舞
南越前町	越前加賀海岸国定公園(夫婦岩、坊主岩)、夜叉ヶ池、不動ヶ滝、武周ヶ池、花はす公園、今庄365スキー場、妙泰寺、慈眼寺、杣山城跡、湯尾峠、木ノ芽峠、栃ノ木峠、山中峠、馬借街道、今庄宿伝統的建造物群保存地区、板取宿、京藤甚五郎家、伊藤氏庭園、旧北陸線トンネル群、アカツ砂防堰堤群、北前船主の館右近家、中村家住宅、今庄羽根曾踊、上野の盆踊り、八坂神社の獅子舞、糠どっさり、越前海岸の水仙畑 糠の文化的景観
越 前 町	越前加賀海岸国定公園(呼鳥門、鳥糞岩、玉川洞窟観音、千枚田水仙園、貧谷の滝、上岬の文化的景観)、越前二の宮劔神社、越前陶芸村、福井総合植物園「プラントピア」、悠久ロマンの杜、越前岬水仙ランド、蟬丸の墓、岩本観音、神明ヶ谷須恵器窯跡、古墳公園(朝日山古墳群)、越知山(山岳信仰跡)、劔神社梵鐘(国宝)、大谷寺九重塔、相木家住宅、八坂神社木造阿弥陀如来坐像・釈迦如来坐像・菩薩形坐像、越前町織田文化歴史館、越知山大谷寺、越知神社、朝日観音 福通寺、泰澄の杜、金刀比羅山宮、日吉神社(米ノ)、禊墓

資料：福井県市町勢要覧（令和4年度版）からの抜粋、各市町への照会等

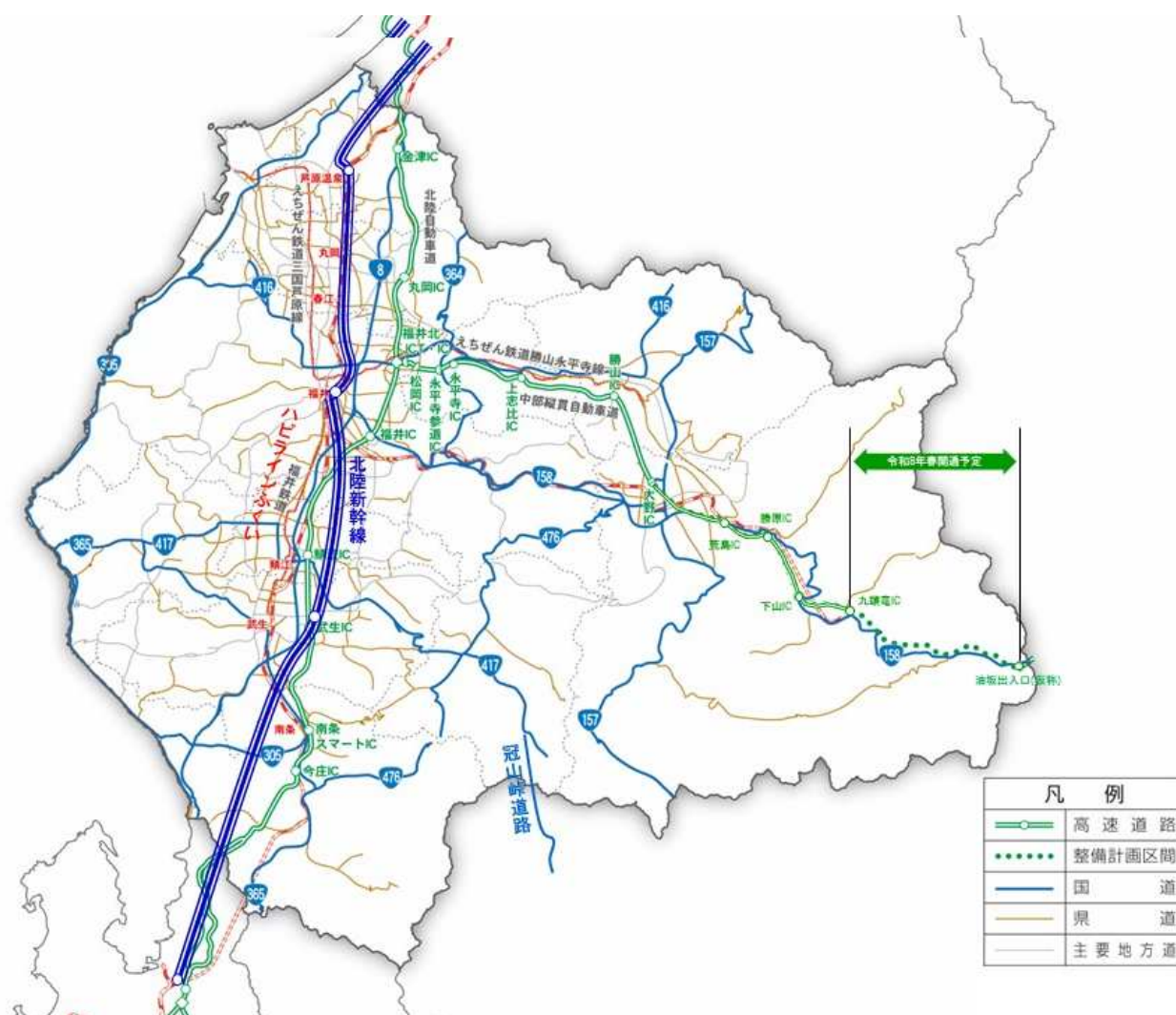
4 交通

(1) 道路・鉄道交通網の状況

道路網については、北陸圏と近畿圏（新潟市～京都市間）を結ぶ国道8号、北陸圏と中部圏（福井市～松本市間）を結ぶ国道158号のほか、主要地方道等が縦横に走っている。また、本圏域においては、南北を北陸自動車道が縦断しており、東西には、福井市と中部・関東圏を最短で結び松本市に至る中部縦貫自動車道の整備が進められている。

鉄道については、北陸新幹線とハピラインふくいが本圏域の中央を縦貫し、福井駅を起点として、JR越美北線が東方に走っている。また、越前市から福井市を福井鉄道が、坂井市から福井市、勝山市から福井市をえちぜん鉄道が走り、圏域の南北と東西を結んでいる。

図表 圏域の道路・交通網の状況



鉄道

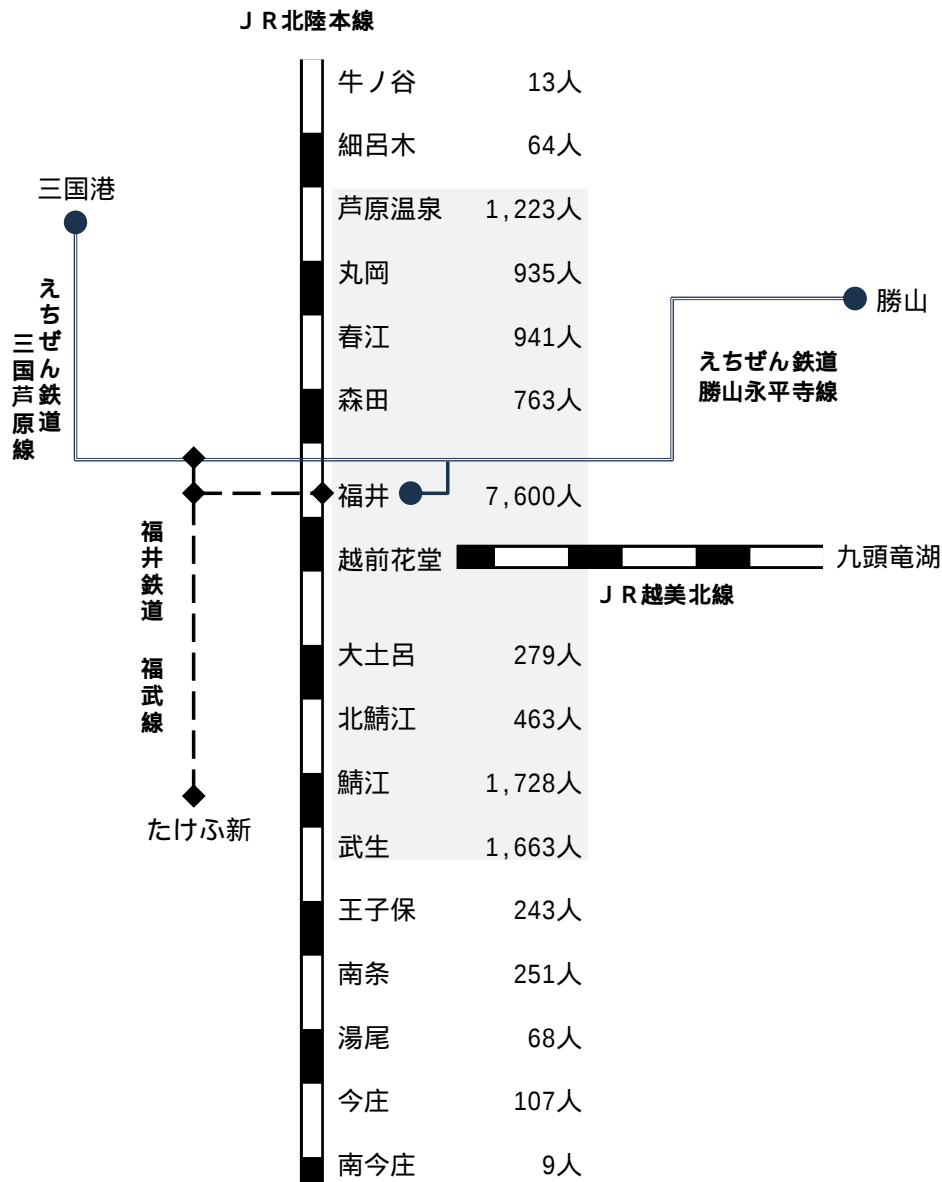
本圏域における鉄道事業者は、西日本旅客鉄道(株)、(株)ハピラインふくい、えちぜん鉄道(株)、福井鉄道(株)の4社であり、重要な広域交通手段となっている。鉄道の利用状況については、福井駅～芦原温泉駅(あわら市)間や福井駅～武生駅(越前市)間の通勤・通学に伴う利用者数が多い。

図表 圏域の交通機関別 1 日平均乗車人員数 (R3.4.1～R4.3.31)

西日本旅客鉄道		えちぜん鉄道		福井鉄道	
J R 北陸本線	16,350 人	勝山永平寺線	3,009 人	福武線	4,812 人
J R 越美北線	718 人	三国芦原線	5,219 人		

JR北陸本線については、令和6年春から、事業者が(株)ハピラインふくいへ移行する。

図表 圏域の鉄道ネットワークと駅別 1 日平均乗車人員数 (R3.4.1～R4.3.31)



資料：福井県「県統計年鑑（交通・通信）」

バス

本圏域における路線バスは、京福バス(株)と福井鉄道(株)の2社により運営されており、鉄道路線と並び都市間交通の重要な役割を担っている。

図表 圏域のバス路線網の状況

路線バス

京福バス	福井市中心部	羽水高校線、幾久・新田塚線、運動公園線、 など
	坂井市・あわら市・永平寺町	エンゼルランド線、東尋坊線、芦原丸岡永平寺線 など
	福井駅～福井市内北西部・三国・鮎川方面	越前海岸ブルーライン、桜ヶ丘団地線、川西三国線 など
	福井駅～福井市内北部・春江・丸岡方面	運転者教育センター線、丸岡線 など
	福井駅～福井市内北東部・丸岡・松岡方面	大学病院線、大和田丸岡線 など
	福井駅～福井市内南西部・清水・越廼・越前町方面	清水グリーンライン、茱崎線 など
	福井駅～福井市内南東部・美山・池田町・大野市・一乗谷方面	大野線、一乗谷東郷線 など
	大野市・勝山市方面	勝山・大野線
福鉄バス	福井市南部地区	清明循環線、麻生津循環線
	福井～越前海岸方面	福浦線
	鯖江～越前海岸方面	鯖浦線
	武生～越前海岸方面	武生越前海岸線
	武生～今立・池田・味真野方面	池田線、入谷線、南越線
	武生～白山・河野海岸方面	王子保・河野線、白山線

資料：各社ホームページ

(2) 交通インフラの状況

図表 圏域の駅・長距離バス路線・インターチェンジ・道の駅

都市機能		施設名	
鉄道	北陸新幹線	福 井 市	福井駅
		あわら市	芦原温泉駅
		越 前 市	越前たけふ駅
	ハピラインふくい	福 井 市	大土呂駅、越前花堂駅、福井駅、森田駅
		鯖 江 市	鯖江駅、北鯖江駅
		あわら市	芦原温泉駅、細呂木駅、牛ノ谷駅
		越 前 市	王子保駅、武生駅
		坂 井 市	春江駅、丸岡駅
		南越前町	南今庄駅、今庄駅、湯尾駅、南条駅
	JR越美北線	福 井 市	越前花堂駅、六条駅、足羽駅、越前東郷駅、一乗谷駅、越前高田駅、市波駅、小和清水駅、美山駅、越前薬師駅、越前大宮駅、計石駅
		大 野 市	牛ヶ原駅、北大野駅、越前大野駅、越前田野駅、越前富田駅、下唯野駅、柿ヶ島駅、勝原駅、越前下山駅、九頭竜湖駅
	JR貨物	福 井 市	南福井駅
	えちぜん鉄道 勝山永平寺線	福 井 市	福井駅、新福井駅、福井口駅、越前開発駅、越前新保駅、追分口駅、東藤島駅、越前島橋駅
		勝 山 市	保田駅、発坂駅、比島駅、勝山駅
		永平寺町	観音町駅、松岡駅、志比堺駅、永平寺口駅、下志比駅、光明寺駅、轟駅、越前野中駅、山王駅、越前竹原駅、小舟渡駅
	えちぜん鉄道 三国芦原線	福 井 市	福井駅、新福井駅、福井口駅、まつもと町屋駅、西別院駅、田原町駅、福大前西福井駅、日華化学前駅、ハツ島駅、新田塚駅、中角駅、鷺塚針原駅
		あわら市	本荘駅、番田駅、あわら湯のまち駅
		坂 井 市	太郎丸エンゼルランド駅、西春江ハートピア駅、西長田ゆりの里駅、下兵庫こうふく駅、大関駅、水居駅、三国神社駅、三国駅、三国港駅
	福井鉄道 福武線	福 井 市	三十八社駅、泰澄の里駅、浅水駅、ハーモニーホール駅、清明駅、江端駅、ベル前駅、花堂駅、赤十字前駅、商工会議所前電停、足羽山公園口電停、福井城址大名町電停、福井駅電停、仁愛女子高校電停、田原町駅
		鯖 江 市	サンドーム西駅、西鯖江駅、西山公園駅、水落駅、神明駅、鳥羽中駅
		越 前 市	たけふ新駅、北府駅、スポーツ公園駅、家久駅
長距離バス路線			福井―東京、福井―名古屋、福井―(京都深草)―大阪、福井―小松空港
高速道路 インターチェンジ	福 井 市	福井IC	
	大 野 市	大野IC、荒島IC、勝原IC、下山IC、九頭竜IC	
	勝 山 市	勝山IC	
	鯖 江 市	鯖江IC	
	あわら市	金津IC	
	越 前 市	武生IC	
	坂 井 市	丸岡IC	
	永平寺町	福井北JCT・IC、松岡IC、永平寺参道IC、永平寺IC、上志比IC	
	南越前町	今庄IC、南条スマートIC	
道の駅	福 井 市	一乗谷あさくら水の駅	
	大 野 市	九頭竜、越前おおの荒島の郷	
	勝 山 市	恐竜渓谷かつやま	
	鯖 江 市	西山公園	
	あわら市	蓮如の里あわら	
	越前市	越前たけふ	
	坂 井 市	さかい、みくに	
	永平寺町	禅の里	
	南越前町	河野、南えちぜん山海里	
	越 前 町	越前、パークイン丹生ヶ丘	

資料：各社ホームページ

5 教育

(1) 高等教育機関等

図表 圏域の大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専修学校

都市機能	施設名	
大学	福井市	福井大学(文京キャンパス)、福井工業大学(福井キャンパス)、福井医療大学
	あわら市	福井県立大学(あわらキャンパス)、福井工業大学(あわらキャンパス)
	越前市	仁愛大学
	永平寺町	福井大学(松岡キャンパス)、福井県立大学(永平寺キャンパス)
大学院	福井市	福井大学大学院(文京キャンパス)、福井工業大学大学院(福井キャンパス)
	あわら市	福井県立大学大学院(あわらキャンパス)、福井工業大学大学院(あわらキャンパス)
	越前市	仁愛大学大学院
	永平寺町	福井大学大学院(松岡キャンパス)、福井県立大学大学院(永平寺キャンパス)
短期大学	福井市	仁愛女子短期大学
高等専門学校	鯖江市	福井工業高等専門学校
専修学校	福井市	専門学校デザイン・ラボ フクイ、専門学校福井文化服装学院、福井ホテルトラベル専門学校、大原簿記法律専門学校福井校、福井情報ITクリエイター専門学校、大原スポーツ医療保育福祉専門学校、福井県医療福祉専門学校、福井製菓専門学校、福井公務員専門学校、福井市医師会看護専門学校、福井歯科専門学校
	越前市	武生看護専門学校
	坂井市	国際ペット専門学校福井
	永平寺町	福井県理容美容専門学校、天谷調理製菓専門学校

資料：文部科学省ホームページ、福井県ホームページ、各大学ホームページ

(2) 文化施設等

図表 圏域の公立図書館・博物館等・文化施設

都市機能	施設名
公立図書館	福 井 市 福井県立図書館、市立図書館、みどり図書館、桜木図書館、美山図書館、清水図書館
	大 野 市 大野市図書館
	勝 山 市 勝山市立図書館
	鯖 江 市 鯖江市図書館、えきライブラリーtetote
	あわら市 金津図書館、芦原図書館
	越 前 市 越前市中央図書館、越前市今立図書館
	坂 井 市 坂井図書館、春江図書館、丸岡図書館、三国図書館
	永平寺町 永平寺町立図書館、永平寺町立図書館永平寺館、永平寺町立図書館上志比館
	池 田 町 池田町立図書館
	南越前町 南条図書館、今庄図書館、河野図書館
	越 前 町 越前町立図書館、宮崎分館、越前分館、織田分館
博物館等	福 井 市 福井県立歴史博物館、福井県立こども歴史文化館、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館、福井県ふるさと文学館、福井県立美術館、美術館、郷土歴史博物館、文化財保護センター、水道記念館、おさごえ民家園、グリフィス記念館、自然史博物館、セーレンプラネット(自然史博物館分館)、愛宕坂茶道美術館、橘曙覧記念文学館、水仙の里公園 水仙ドーム、越廼ふるさと資料館
	大 野 市 大野市歴史博物館、大野市民俗資料館、くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ、本願清水イトヨの里、越前大野城、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、福井県自然保護センター、COCONOアートプレイス
	勝 山 市 県立恐竜博物館、勝山城博物館、白山平泉寺歴史探遊館まほろば、はたや記念館ゆめおーれ勝山
	鯖 江 市 鯖江市越前漆器伝統産業会館、めがねミュージアム、鯖江市まなべの館
	あわら市 金津創作の森美術館、あわら市郷土歴史資料館、藤野巖九郎記念館、越前加賀県境の館
	越 前 市 越前和紙の里 パピルス館・卯立の工芸館・紙の文化博物館、万葉館、ちひろの生まれた家記念館、武生公会堂記念館
	坂 井 市 福井県児童科学館「エンゼルランドふくい」、福井県教育博物館、越前竹人形の里、坂井市龍翔博物館、ONOメモリアル、丸岡城、一筆啓上 日本一短い手紙の館、旧岸名家住宅、坪川家住宅、福井県総合グリーンセンター、丸岡歴史民俗資料館
	永平寺町 永平寺町四季の森複合施設
	池 田 町 能楽の里歴史館、能面美術館
	南越前町 南条ふるさと資料館「国華」、河野歴史文化ふれあい会館、河野天文学習館、北前船主の館 右近家
	越 前 町 福井県陶芸館、越前古窯博物館、福井総合植物園「プラントピア」、越前がにミュージアム、織田文化歴史館
文化施設	福 井 市 福井県国際交流会館、福井県県民ホール、木ごころ文化ホール、福井県生活学習館「ユー・アイふくい」、ハビリンホール、きらら館、フェニックス・プラザ、福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」
	大 野 市 大野市文化会館、多田記念大野有終会館、学びの里「めいりん」、和泉ふれあい会館
	勝 山 市 勝山市民会館
	鯖 江 市 鯖江市文化センター、嚮陽会館
	あわら市 あわら市文化会館
	越 前 市 サンドーム福井、越前市文化センター、いまだて芸術館、かこさとし ふるさと絵本館「石石(らく)」
	坂 井 市 ハートピア春江、みくに未来ホール
	永平寺町 上志比文化会館サンサンホール
	池 田 町 能楽の里文化交流会館
	南越前町 南越前文化会館
	越 前 町 越前陶芸村文化交流会館、朝日多目的ホール「カメラアホール」

資料：各市町ホームページ等

(3) スポーツ施設

図表 圏域の運動広場・体育館・水泳プール・柔剣道場・弓道場ほか

都市機能	施設名	
運動広場	福 井 市	福井運動公園、スポーツ公園、幾久公園、ふくい健康の森、藤岡サッカー場、美山アンデパンダン広場、きららパーク、西公園テニスコート、わかばテニスコート、開発グラウンド、町屋グラウンド、米松グラウンド、大島グラウンド、成和グラウンド、高木中央グラウンド、西藤グラウンド、和田グラウンド、江尻グラウンド、山奥グラウンド、宮ノ下グラウンド、越廼グラウンド、東公園グラウンド
	大 野 市	真名川憩いの島、大野市エキサイト広場総合体育施設、奥越ふれあい公園、大野市明治公園テニスコート、大野市ゲートボール場、DAINOUSポーツランド
	勝 山 市	長山公園グラウンド、弁天緑地公園グラウンド、あさひ公園グラウンド、市営庭球場
	鯖 江 市	西山公園野球場、南公園グラウンド、御幸公園グラウンド、西公園グラウンド、中山公園グラウンド、丸山公園多目的広場、西番スポーツセンター、神中公園テニスコート、中山公園テニスコート、東公園ゲートボール場、ゲートボールセンター、東公園陸上競技場
	あわら市	あわら市本荘ゲートボール場、トリムパークかなづ、ゆうゆうパークあわら内多目的グラウンド、柿原グラウンド、国影グラウンド、湯のまちグラウンド
	越 前 市	今立テニスコート、今立中央公園多目的広場、家久スポーツ公園、武生中央公園、武生東運動公園、丹南総合公園、武生特殊鋼材ドリームサッカー場
	坂 井 市	テクノポート福井総合公園、三国運動公園、丸岡スポーツランド、丸岡ゲートボール場、三国グラウンド、丸岡運動公園、丸岡情報団地公園テニスコート、鳴鹿テニスコート、春江テニスコート、春江北グラウンド、江留上公園グラウンド、春江東グラウンド、坂井グラウンド、東十郷中央公園
	永平寺町	松岡総合運動公園、永平寺緑の村運動広場、上志比グラウンド、松岡庭球場
	池 田 町	わいわいドーム、町民グラウンド、下地区グラウンド、菅生山村広場
	南越前町	南条農村総合運動公園、南条活性化施設ホノケ多目的広場、レインボーパーク南条、スポーツパーク476、今庄山村広場、桜橋総合運動公園、ふれあいシーサイドパーク、南条グラウンド、今庄グラウンド、杣山テニスコート
	越 前 町	町営球技場、町営球技場多目的グラウンド、町営朝日総合運動場、越前陶芸村スポーツ広場、宮崎総合運動場、町営アクティブランド運動場、織田中央公園多目的広場、織田中央公園テニスコート、織田中央公園ゲートボール場、福井県立ホッケー場、炎ぼの館
体育館	福 井 市	市体育館、ちもり体育館、東体育館、西体育館、南体育館、北体育館、中藤屋内運動場、美山トレーニングセンター、基礎体力づくりトレーニング場
	大 野 市	大野市B&G海洋センター、大野市エキサイト広場総合体育施設、大野市教育センター、富田公民館体育館、下庄公民館体育館、多田記念大野有終会館
	勝 山 市	林業健康トレーニングセンター、勝山市B&G海洋センター、勝山市体育館ジオアリーナ、勤労青少年体育センター
	鯖 江 市	鯖江市総合体育館、スポーツ交流館、神明健康スポーツセンター、立待体育館
	あわら市	あわら市金津B&G海洋センター体育館、トリムパークかなづ体育館、農業者トレーニングセンター体育館
	越 前 市	越前市アイシンスポーツアリーナ、今立体育センター、瓜生水と緑公園体育館
	坂 井 市	三国体育館、丸岡今福体育館、丸岡体育館、丸岡屋内球技練習場、春江体育館、坂井体育館、丸岡フィットネスセンター、坂井屋内スポーツセンター、坂井市春江B&G海洋センター
	永平寺町	永平寺町松岡B&G海洋センター、永平寺緑の村ふれあいセンター、永平寺町健康福祉スポーツ施設 ニンキー体育館
	池 田 町	池田町民体育館、農業de合宿キャンプセンター体育館、池田町立公民館水海分館
	南越前町	南条勤労者体育センター、南条活性化施設ホノケ活性化センター、鹿森地区屋内体育館、堺地区屋内体育館、宅良地区屋内体育館、桜橋体育館、今庄地区屋内体育館
	越 前 町	朝日B&G海洋センター、町営系生体育館、町営越前体育館、町営アクティブランド体育館、町営織田勤労者体育館、町営朝日体育館

都市機能	施設名	
水泳プール	福 井 市	福井運動公園、東山健康運動公園、美山B＆G海洋センター、ふくい健康の森
	大 野 市	大野市B＆G海洋センター、大野市健康保養施設あっ宝んど
	勝 山 市	勝山市営温水プール
	鯖 江 市	鯖江市民プール
	あわら市	余熱館ささおか
	越 前 市	武生中央公園温水プール、家久スポーツ公園温水プール
	坂 井 市	三国運動公園温水プール、坂井市春江B＆G海洋センター、坂井市丸岡B＆G海洋センター
	池 田 町	池田町B＆G海洋センター
	南越前町	ウォーターランド南条
	越 前 町	町営朝日南プール、朝日B＆G海洋センター
柔剣道場	福 井 市	福井県立武道館
	大 野 市	大野市エキサイト広場総合体育施設
	勝 山 市	勝山市B＆G海洋センター(武道場)
	鯖 江 市	三六武道館
	あわら市	あわら市武道館
	越 前 市	越前市武道館
	坂 井 市	丸岡武道館、坂井武道館
	南越前町	町民武道館
弓道場 ほか	福 井 市	福井県立馬術競技場、福井県立ライフル射撃場、アーチェリー練習場、市弓道場、福井県立アーチェリーセンター、福井県立クライミングセンター
	大 野 市	大野市エキサイト広場総合体育施設、大野市B＆G海洋センター
	勝 山 市	福井県立クレ射撃場、勝山市B＆G海洋センター(弓道場)
	鯖 江 市	鯖江市弓道場
	あわら市	トリムパークかなづ弓道場、あわら市北潟湖カヌーポロ競技場
	越 前 市	越前市弓道場
	坂 井 市	三国艇庫
	池 田 町	池田町立クライミングウォール
	越 前 町	朝日弓道場、織田中央公園弓道場

資料：各市町ホームページ等

6 医療

(1) 市町別の医療機関数・医師数

図表 市町別の病院・一般診療所・歯科診療所の数及び医師数

	病院		一般診療所		歯科診療所		医師数		
	施設数	人口10万人あたり	施設数	人口10万人あたり	施設数	人口10万人あたり	医師	歯科医師	人口10万人あたり
福井市	27	10.3	260	99.1	138	52.6	940	198	433.8
大野市	4	12.8	21	67.1	10	32.0	31	16	150.2
勝山市	2	9.0	12	54.2	8	36.1	41	11	234.8
鯖江市	7	10.2	40	58.6	23	33.7	111	34	212.3
あわら市	3	10.9	16	58.1	8	29.1	39	17	203.5
越前市	7	8.7	46	57.1	31	38.5	105	40	179.9
坂井市	4	4.5	47	53.1	25	28.3	77	29	119.8
永平寺町	1	5.3	11	58.0	7	36.9	389	17	2,140.8
池田町	0	0.0	3	123.8	1	41.3	3	1	165.1
南越前町	0	0.0	8	80.0	2	20.0	9	3	120.0
越前町	2	9.9	9	44.7	5	24.9	16	8	119.3
圏域合計	57	9.0	473	74.8	258	40.8	1,761	374	337.7
福井県	67	8.7	573	74.7	301	39.3	2,002	434	317.7

資料：厚生労働省「令和2年 医療施設調査」

(注) 人口10万人あたりの人口は、総務省「令和2年 国勢調査」に基づく

(2) 医療機関

図表 圏域の医療機関・機関数

機能	医療機関・施設名称	県内の機関数	
			うち圏域内
三次救急医療	福井県立病院救命救急センター	2	1
二次救急医療 (病院群輪番制病院)	福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、 福井勝山総合病院、公立丹南病院、 福井総合病院、福井大学医学部附属病院	9	7
総合周産期母子医療センター	福井県立病院、福井大学医学部附属病院	2	2
災害拠点病院	福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、 福井勝山総合病院、公立丹南病院、 福井総合病院、福井大学医学部附属病院	9	7
小児救急夜間輪番病院	福井赤十字病院、福井県済生会病院、 福井県立病院、福井大学医学部附属病院	6	4

資料：福井県ホームページ

7 福祉

(1)介護

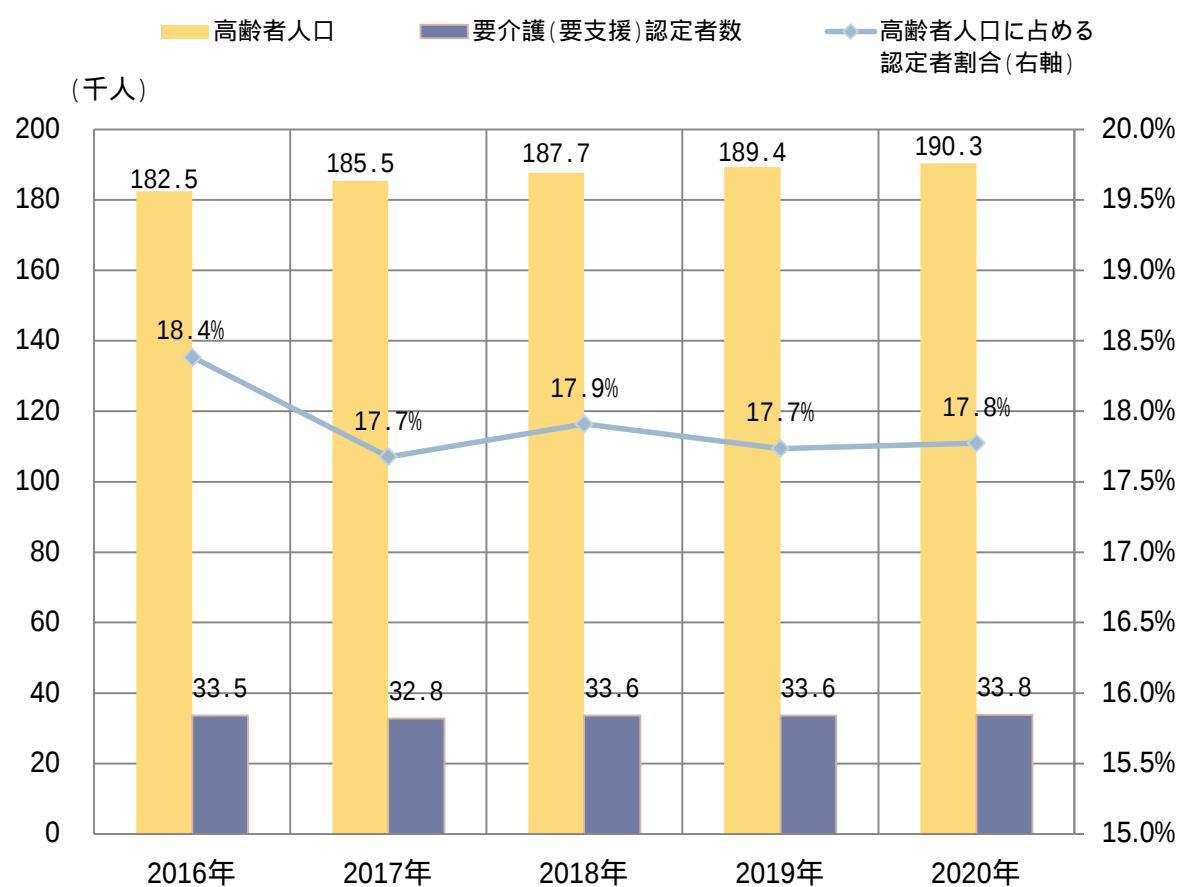
介護を必要としている高齢者人口等の推移

本圏域の介護を必要としている高齢者は、平成28年(2016年)の33.5千人から令和2年(2020年)には33.8千人へと、ほぼ横ばいで推移している。

一方で、高齢者人口に占める要介護認定者数の割合は、平成28年の18.4%から令和2年には17.8%へと、0.6ポイント減少している。

高齢者人口は、今後も増加するとみられることから、引き続き、認知症対策や地域全体で高齢者の生活を支える体制を継続していく必要がある。

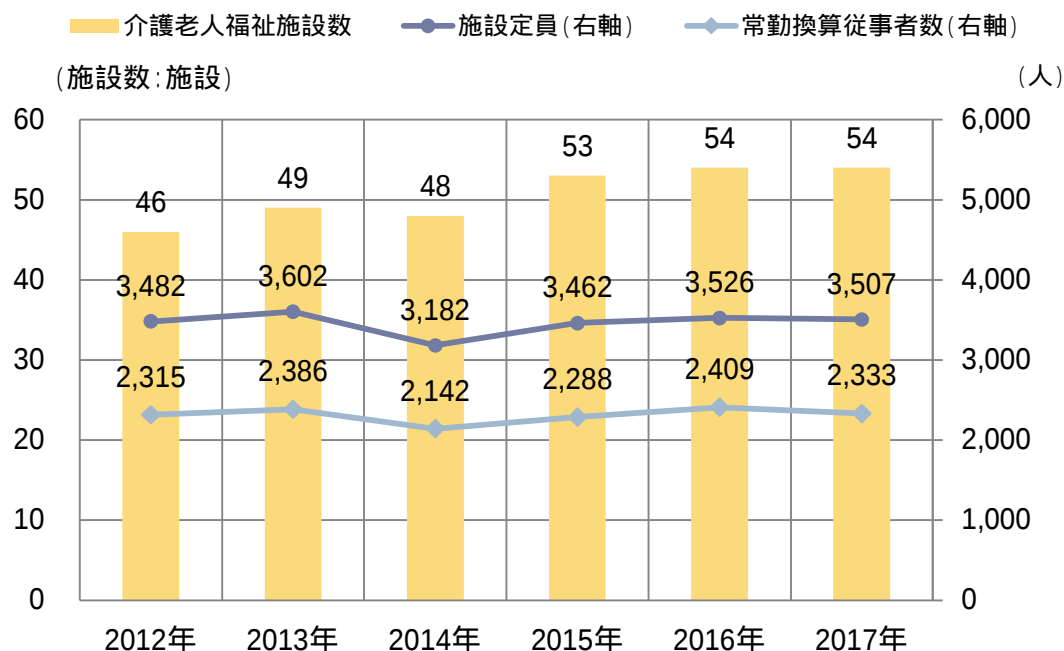
図表 圏域の高齢者人口・要介護(要支援)認定者数・高齢者人口に占める認定者割合の推移



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、厚生労働省「介護保険事業状況報告」

介護老人福祉施設等の状況

図表 圏域の介護老人福祉施設・施設定員・常勤換算従業者数の推移



資料：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

市町別の高齢者施設数

図表 市町別の介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設・有料老人ホームの数

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	有料老人ホーム	高齢者人口1万人あたり
福井市	19	9	8	30	2.5
大野市	3	1	-	2	1.9
勝山市	4	2	-	3	4.1
鯖江市	4	3	1	2	1.5
あわら市	3	2	-	2	2.5
越前市	6	1	3	9	2.4
坂井市	5	3	2	10	2.3
永平寺町	4	-	-	-	2.1
池田町	1	-	-	1	8.3
南越前町	1	2	-	-	3.0
越前町	4	1	1	-	3.0
圏域合計	54	24	15	59	2.4
福井県	66	33	16	71	2.4

資料：厚生労働省「平成29年 社会福祉施設等調査」「平成29年 介護サービス施設・事業所調査」

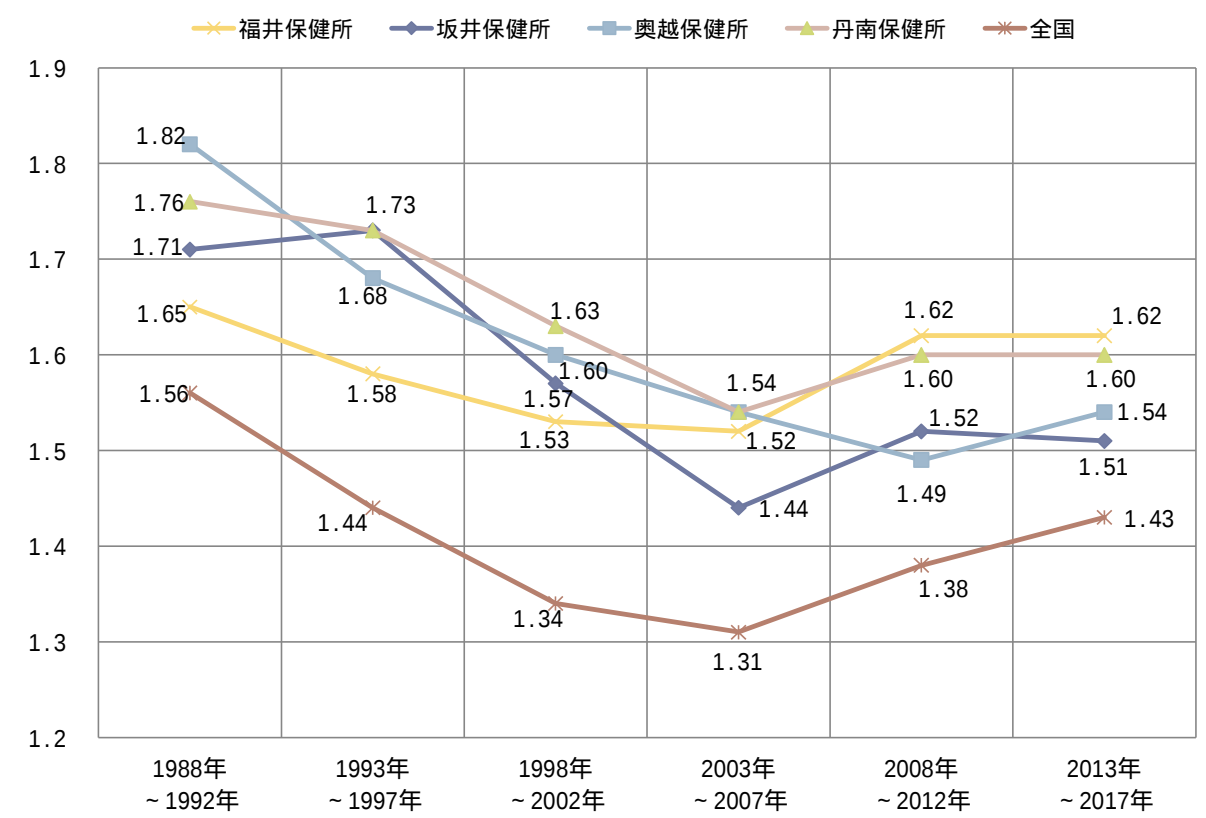
(2) 出産・子育て

本圏域の合計特殊出生率は、全国平均を大きく上回っている。

2022 年(令和 4 年)4 月において、圏域内のすべての市町で待機児童ゼロを達成している。

合計特殊出生率の推移

図表 圏域の保健所別の合計特殊出生率推移



資料：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」「人口動態調査」

(注) 福井保健所の管轄区域は、福井市及び永平寺町

福井市は中核市移行により、2019 年(平成 31 年)4 月～管轄外

坂井保健所の管轄区域は、あわら市及び坂井市

奥越保健所の管轄区域は、大野市及び勝山市

丹南保健所の管轄区域は、鯖江市、越前市、池田町、南越前町及び越前町

市町別の保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園の状況

図表 市町別の保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園の数等

	保育所 (保育所型認定こども園を含む)	幼稚園 (幼稚園型認定こども園を含む)	幼保連携型認定こども園
福井市	28所	22園	62園
大野市	5所	7園	8園
勝山市	4所	1園	7園
鯖江市	17所	4園	5園
あわら市	0所	0園	12園
越前市	9所	11園	15園
坂井市	28所	12園	5園
永平寺町	8所	3園	0園
池田町	0所	0園	1園
南越前町	2所	0園	2園
越前町	10所	0園	2園
圏域合計	111所	60園	119園

資料：厚生労働省「令和2年 社会福祉施設等調査」「保育所等関連状況取りまとめ（令和4年4月1日）」
福井県「令和2年度 学校基本調査」

第3章 ふくい嶺北連携中枢都市圏の将来展望

Ⅰ 第Ⅰ期ビジョンの総括

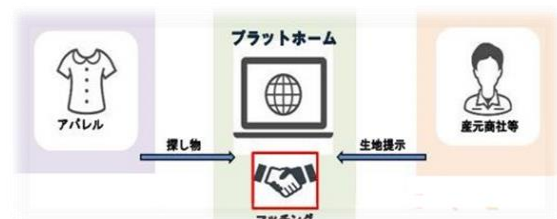
(Ⅰ)これまでの実績

平成31年4月1日に、第Ⅰ期ビジョンを策定、公表し、都市圏に求められる「圏域全体の経済成長のけん引」、「都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の3つの役割を果たすため、23の分野に分かれたワーキンググループで、都市圏ビジョンに掲げた56の取組を実施してきた。

①「圏域全体の経済成長のけん引」

【商工分野】

海外アパレルとのマッチングなどの商談支援や、輸出に向けたセミナーなどの実務支援のほか、海外展示会への出展支援を実施した。取組を通じて、業界の多数を占める小規模事業者の販路拡大の機会創出が必要であること等の課題が見えてきた。そのため、より多くの繊維事業者が、アパレルメーカーと商談機会を持ち、販路拡大できる環境を整備するため、アパレルメーカーと繊維事業者とをつなぐプラットフォーム（ECサイト）の構築を進めた。構築したECサイトを活用し、マッチングの充実を図るとともに、海外アパレル等へのPRも視野に、取組を展開している。



【ECサイトのイメージ】

また、圏域における事業承継の促進を図るため、ふくい嶺北連携中枢都市圏商工業振興施策検討協議会で協議を進め、圏域内の11市町・商工会議所・商工会と福井県事業承継・引継ぎ支援センターが連携し、ふくい嶺北連携中枢都市圏での事業承継を後押しするプロジェクトを立ち上げた。事業者が身近な場所で気軽に相談できるよう、連携中枢都市圏内に複数の相談の入口を用意し、どの入口からでも事業承継の支援を受けることができる圏域となることを目指し取り組んでいる。



【事業承継・引継ぎ支援センターチラシ】

【農林水産分野】

圏域内の旬の野菜や食文化をPRする「越前ふくいマルシェ」や「福井美食フェア」の開催など、圏域のおいしい農林水産物の魅力を圏域内外に発信し、認知度向上や販路拡大に連携して取り組ん



【橘ケンチ氏とコラボしたポスター】

だ。

また、「そば処」としての圏域の魅力を高めるため、圏域内で栽培されている在来種そばについて、著名人に協力いただいたPRポスターの作成・配布や、Instagramを活用したキャンペーンの実施などに取り組んだ。

【観光分野】

嶺北エリアの情報（食・体験・観光ガイド・まち歩きコース・二次交通等）をワンストップで取得できるポータルサイトの構築など、圏域全体への誘客拡大に取り組んだ。

ポータルサイトでは、新たに人工知能（AI）を用いたお薦め観光コースの作成機能を追加するなど、観光プロモーションを強化し、圏域全体への誘客拡大に向けて取組を進めた。

また、SNS（Instagram）の運用や、フォトコンテスト等の実施などにより情報発信を行い、福井のPR強化に努めた。



【フォトコンテスト受賞作の一部】

②「高次の都市機能の集積・強化」

【公共交通分野】

広域的な公共交通網の構築に向けた検討を進め、公共交通やタクシー、自転車など、移動利便性向上を目的としたMaaS(Mobility as a Service)システムの導入に向け、アプリの実証実験などに取り組んだ。



【ふくいMaaSアプリ実証実験】

③「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」

【福祉分野】

成年後見制度利用促進体制を整備するため、令和2年8月に連携協議会を設置し、制度の広報や相談を担う広域的な中核機関の開設に向け協議を進め、令和4年6月に、7市町の連携により中核機関を開設した。



【ふくい嶺北成年後見センター開所式】

【情報分野】

業務プロセスを自動化することにより、事務の省力化を図る「RPAの導入」について共同研究を進めた。

第 1 期ビジョンに掲げたKPIの達成状況については、25 項目中、●項目が達成、●項目が未達成の見込みとなった。

未達成見込みの主な要因としては、令和元年度末から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、移動の自粛や様々な事業の中止を余儀なくされたことなどによるものである。そのような中にもあっても、オンラインを活用するなど、3 密を回避した上で可能な限り事業を進めてきたところである。

表 KPIの達成状況					
	令和元年度 (1 年目)	令和 2 年度 (2 年目)	令和 3 年度 (3 年目)	令和 4 年度 (4 年目)	令和 5 年度 (5 年目)
達成率	56.3% (9/16)	43.8% (7/16)	50.0% (8/16)	56.0% (14/25)	●% (見込み)

※達成率(%)・・・目標達成数／目標設定数×100
 ※小数点第二位を四捨五入
 ※ビジョン懇談会の意見を踏まえ、令和 4 年度から指標を追加(16 指標→25 指標)

第 2 期ビジョンにおいては、これまで以上に連携市町と緊密に意思疎通を図ることで、より強固な関係を構築し、それぞれの市町の個性と魅力を磨き高めるとともに、連携中枢都市圏における取組を通じて、活力と魅力あふれる経済・生活圏の実現を目指していく。

(2) 第 2 期ビジョンの策定に向けて(課題と今後の展開)

北陸新幹線福井開業や中部縦貫自動車道の県内区間全線開通という「大交流時代」のタイミングを逸することなく、交流人口のみならず定住人口の増加や、地域経済の発展につながる取組を進める必要がある。

また、コロナ禍を契機とした地方生活への関心の高まりを捉え、地方への人の流れを創出し、定住人口の増加につながる取組も推進する必要がある。

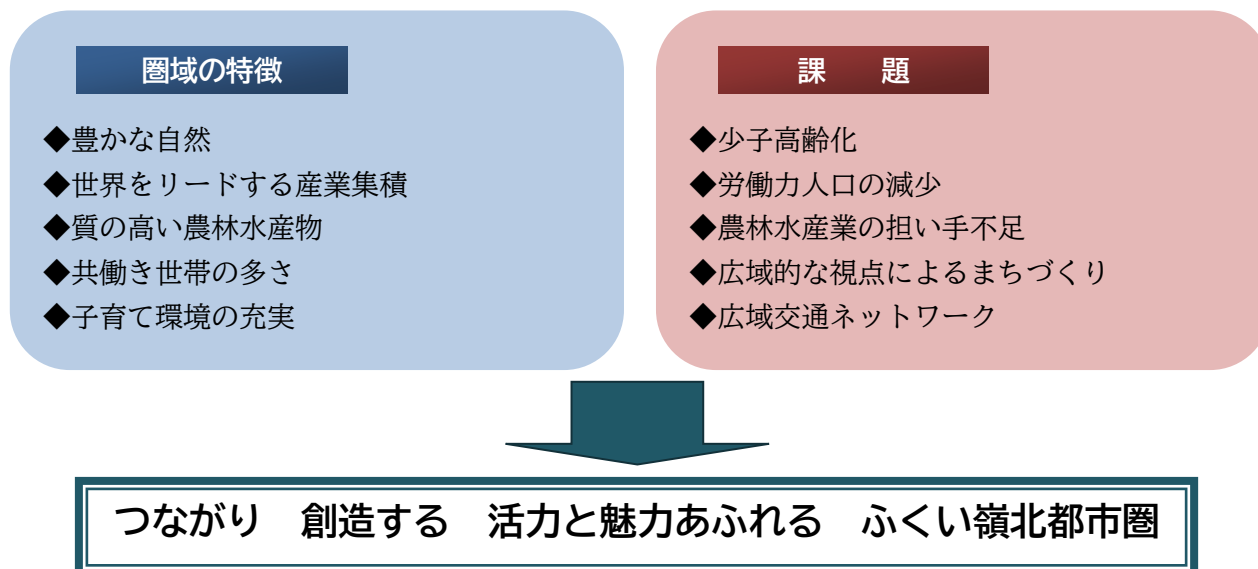
さらに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、圏域内の住民の利便性向上や行政サービスの更なる向上を図るための取組を進める必要がある。

加えて、2050 年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、脱炭素社会の実現に向けた取組を加速させるとともに、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、SDGsの理念を踏まえた取組を進める必要がある。

これらの社会情勢を踏まえ、今後も引き続き 7 市 4 町が連携し、圏域の強みを活かした事業を展開することで、人口減少・少子高齢化社会にあっても活力ある地域経済を維持するとともに、住民が安心して快適な暮らしを営むことができる圏域の形成を目指す。

2 ふくい嶺北連携中枢都市圏の将来像

(1) 中長期的な将来像



本圏域では、人口減少・少子高齢化が進行する中で、圏域内の市場縮小への対応、労働力の確保等、圏域の経済活性化を図るとともに、安定した住民サービスを提供し、地域の活力を維持していくことが求められている。

そのためには、圏域が有する強みを最大限に活かしながら、有機的に地域資源の連携を図るという視点が必要になる。

これまでも各市町の取組によってその価値を磨き、育まれてきているところであるが、市町の境を越えて、それぞれの地域資源に新たな「つながり」を生み出すことで、圏域の強みを活かした新たな価値や魅力の創出が可能になると考えられる。

各市町の多様性を活かすとともに、相互に補完し、高め合いながら、それぞれの市町が主役となって連携事業に取り組むことにより、活力ある圏域を目指すことが重要であるとの認識のもと、第1期ビジョンに引き続き、第2期ビジョンにおいても「つながり 創造する 活力と魅力あふれる」都市圏を目指す。

(2) 将来像の実現に向けた基本方針

前記の中長期的な将来像を実現するために、本ビジョンでは、圏域における新たな産業、サービスの創造や知見の共有による、サービスの質の向上等を図るために、圏域が有する豊富な地域資源の間に市町の境を越えた新たなつながりを生み出すことを基本方針とする。この基本方針に基づいて、以下の3つを戦略とし、具体的な取組を推進することとする。

戦略① 圏域全体の経済成長のけん引

少子高齢化に伴い進展する人口減少社会では、圏域内の住民の消費が低下することにより圏域内の市場は縮小することが見込まれる。また、就業者数の減少も続くことが予想されることから、生産面においても人手不足が深刻になることも懸念される。これらは、圏域の経済の停滞を招くことから、さらに雇用機会が減少し、都市部への若者の流出が加速するといった悪循環を発生させる恐れがある。

このような悪循環を断ち切るべく、本圏域において強みとなっている、豊かな観光資源、食関連産業の集積、充実した交通網等を十分に活用し、圏域外からヒト・モノ・カネを引き寄せることで、経済基盤の強化を図り、圏域全体の経済成長を目指していく。

□連携分野

- 産学官民一体となった経済成長の推進
- 新規創業の促進及び中堅企業等を核とした戦略産業の育成
- 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
- 戦略的な観光施策の推進

見込まれる主な成果

- ・ 圏域の強みを活かした戦略産業が創造されるとともに、新たな技術開発や産品等の創出に加え、関連産業における付加価値が向上することによる、圏域内経済の好循環
- ・ 観光資源のさらなる魅力向上と情報発信力が強化されることによる、圏域全体の知名度向上と観光誘客の増加

戦略② 高次の都市機能の集積・強化

北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業、中部縦貫自動車道の延伸等による高速交通網の整備が進み、北陸における交通結節点としての機能は向上しており、さらに福井駅周辺での開発が進んだことから、福井市を中心とした都市機能の強化が進んでいる。また、医療・教育等の様々な分野でも福井市を中心に高次の都市機能が集積している。

これら高次の都市機能の集積を維持・強化していくことは、圏域全体での経済・生活の質の向上につながるため、今後も魅力ある圏域づくりのための取組を進めていく。

□連携分野

- 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
- 高等教育・研究開発の環境整備

見込まれる主な成果

- ・ 圏域内外の公共交通拠点の整備、バス路線の維持・確保などを図ることによる、住民生活における移動の利便性向上
- ・ 中心拠点において、文化施設の整備を進め、また、地域資源を活用したイベント等を実施することによる、圏域外との交流人口の増加

戦略③ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

人口減少社会では、地方公共団体の財政状況は今後ますます厳しくなることが予想され、特に過疎化が進行する地域では、将来的に安定した行政サービスの提供が困難になる恐れもある。また、高齢者の増加や共働き世帯の増加等、新たな生活関連機能・サービスのニーズも高まっていくことが予想される。

このような状況下で、医療・福祉サービス等の充実や安全・安心な生活環境の維持、地域振興、ネットワークの強化・人材の育成などを圏域内で連携して行っていくことで、生活関連機能・サービスの維持・向上を図っていく。

□連携分野

- ◆ 生活機能の強化に係る政策分野
 - 地域医療及び介護・福祉サービスの充実
 - 学校教育・社会教育の環境整備
 - 文化振興
 - 地域振興
 - 災害対策
 - 環境対策
- ◆ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 - 地域公共交通の充実
 - ICT・道路等社会インフラの整備
 - 地域内外の住民との交流・移住促進
- ◆ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
 - ネットワークの強化・人材の育成

見込まれる主な成果

- ・ 圏域全体の生活関連機能・サービスの供給体制が強化されることによる、各市町における住民生活の安全・安心の向上
- ・ 圏域内外との人的交流がこれまでよりも活発化することによる、人口の増加や産業振興、地域づくり等を担う新たな人材の確保

3 ふくい嶺北連携中枢都市圏が目指す目標人口

(1) 目標人口の推計方法

国は将来の合計特殊出生率を2025年（令和7年）に1.80を実現し、将来的には人口置換水準である2.07に向上することを目標に掲げており、本圏域でもこの目標を踏襲することとする。

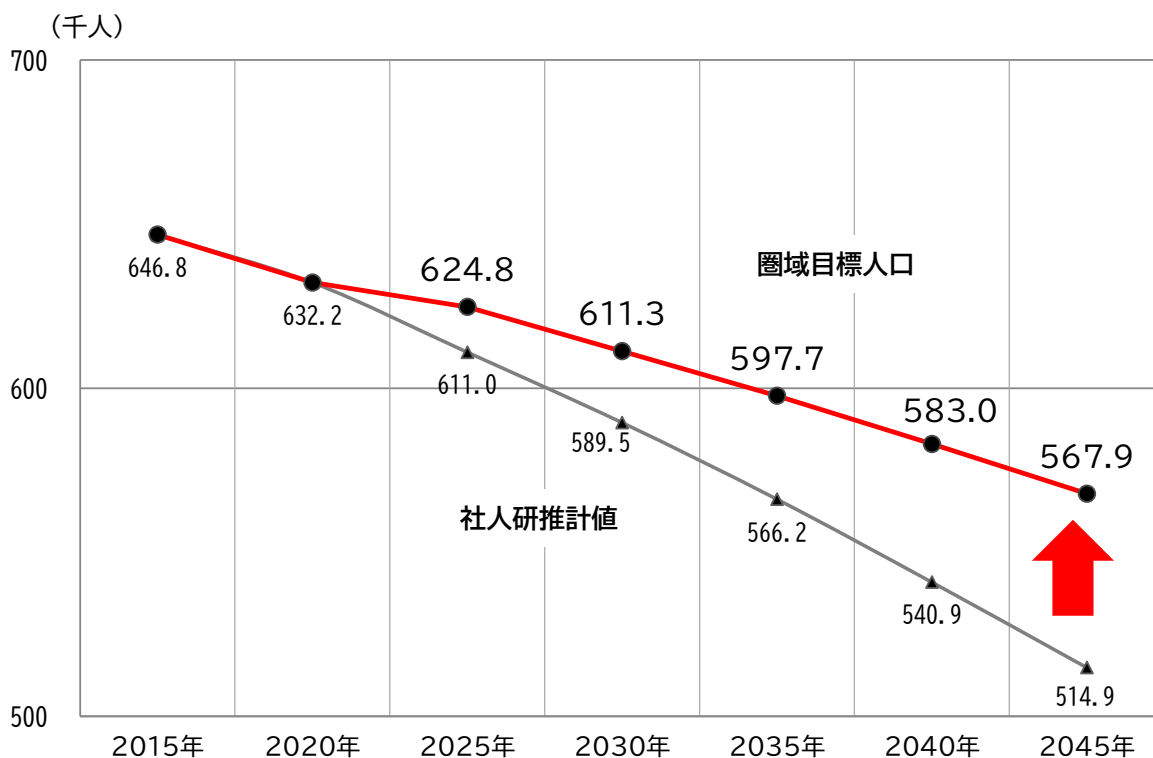
また、各市町が総合戦略に位置づけられた取組を推進するとともに、圏域内の連携が強化されることにより、現在の転出超過の状態から、転入転出が均衡するものとして、将来人口の推計を行う。

(2) 将来の目標人口

圏域の人口は、2015年（平成27年）国勢調査時点で64.7万人、2020年（令和2年）国勢調査時点で63.2万人であるが、将来人口は社人研によると、2045年（令和27年）には51.5万人と、2015年比で20.4%減少すると推計されている。

このように、これまでの人口動態を前提とすると、今後人口減少が加速度的に進むこととなるが、経済成長、都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上を図ることにより、2045年時点で社人研推計よりも5.3万人多い56.8万人という水準（社人研推計値比プラス10.3%）の人口規模を維持することを目指し、圏域が一体となった取組を進めていく。

図表 圏域の将来目標人口



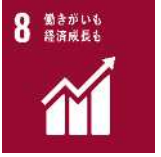
第4章 連携協約に基づき推進する具体的取組

1 具体的取組

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

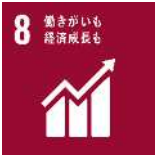
連携協約の内容	産学金官民一体となった経済成長の推進
経済成長の推進に向け、産学金官民一体となった協議会を運営し、商工業振興施策に対する提案や進捗管理などに取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
商工業振興施策に係る協議回数(累計)	1 回	5 回

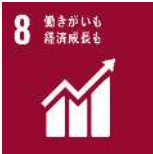
事業名	(1)商工業振興施策検討協議会運営					SDGs
事業概要	産学金官民により構成する協議会において、圏域内市町が連携して行う商工業等振興施策について検討する。 (主な事業内容) ・圏域内の企業、大学、金融機関、商工団体、行政機関などで構成する協議会において、産業振興分野での経済成長につながる事業の提案や意見交換、進捗管理等を行う。					 
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	141	141	141	141	141	705
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、協議会を運営する。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	協議会に参画する。				

連携協約の内容	新規創業の促進及び中堅企業等を核とした戦略産業の育成
圏域の特性を活かした様々な分野での創業促進や異分野異業種交流、新事業・新製品開発のための支援など、戦略産業の育成に取り組む。	

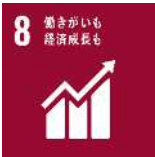
成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
創業セミナー及び事業承継相談会の開催回数	3 回	4 回

事業名	(2)創業・事業承継促進					S D G s
事業概要	圏域内での若者等の新たなビジネスプランの発掘や、圏域内中小企業者が持つ貴重な技術・ノウハウの次世代への引継ぎを図るため、創業や事業承継を連携して支援する。 (主な事業内容) ・地域活性化、経済活性化につながるプランや、新規性、独創性の高いプランを広く募集する「福井発！ビジネスプランコンテスト」を開催する。 ・女性による起業や女性後継者の育成を図るセミナーを開催する。 ・福井県事業承継・引継ぎ支援センターと連携し、事業承継相談会等を開催する。					 
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100	15,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、支援事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業者・住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
新事業等支援件数（累計）	5 件	20 件

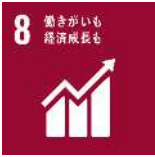
事業名	(3) 地域産業振興					S D G s
事業概要	新事業展開等による企業の稼ぐ力の向上や、D X推進等による企業価値の向上に向けた圏域内中小企業者の取組を連携して支援する。 （主な事業内容） ・福井市内の事業者が、圏域内中小企業者と協力し、研究開発から製造、販路開拓までを一貫して行う事業に対して支援する。 ・デジタル化やD Xを用いた経営課題の解決に向けた契機とするため、圏域内中小企業者のD X人材の育成支援のための研修会を開催する。 ・中小企業者に向けD X専門家を派遣し、D X計画の作成、計画に沿った取組の実施、取組後のフォローアップ等の一貫した支援事業を実施する。					 
連携市町	全市町					
事業費 （千円）	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	15,013	15,013	15,013	15,013	15,013	75,065
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、支援事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業者・住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
物産展等での出品、P R 市町数	8 市町	11 市町

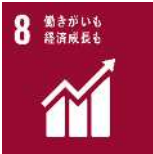
事業名	(4) 販路拡大・消費拡大促進						S D G s
事業概要	北陸新幹線福井開業や大阪・関西万博に合わせて、圏域内の加工品をはじめとする特産品等を広く発信する。 また、圏域内における販路拡大・消費活性化を図るため、圏域内の商業施設や商店街、店舗及び魅力ある地域資源等について、連携して情報発信する。 (主な事業内容) ・圏域外への販路拡大のため、首都圏や関西圏等において物産展を開催する。 ・圏域内における販路拡大のため、圏域内百貨店において物産展を開催する。 ・圏域内の商圈を維持・拡大するため、圏域内の商業施設や商店街が連携し、各種SNS等で魅力的な店舗情報をまとめて発信する。 ・圏域全体の潜在需要の掘り起こしや新たな消費創出のため、民間事業者と圏域内市町が連携し、テーマ別情報発信媒体を発刊する。						
連携市町	全市町						
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計	
	20,323	20,323	20,323	20,323	20,323	101,615	
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。					
	連携市町	事業者・住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。					

連携協約の内容	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
圏域内の特産物の販路開拓やPR促進、統一ブランドの開発など、地域経済の裾野の拡大に取り組む。	

成果指標	現状値(R4年度)	目標(R10年度)
販路拡大事業（イベント・商談会等）への参加事業者数	60事業者	90事業者

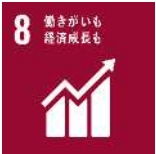
事業名	(5)農林水産物特産品販路拡大					SDGs
事業概要	圏域内の農林水産物や加工品など特産品の販路拡大及び地産地消の推進を図るため、圏域内特産品に関するプロモーションに連携して取り組む。 （主な事業内容） <圏域内事業> ・地産地消の推進を図るため、圏域内の旬の野菜をPR・販売するマルシェを開催する。 <圏域外事業> ・認知度向上・販路拡大を図るため、発信力のある事業者等を活用して食の魅力を発信する。 ・圏域内の食材を使用した首都圏飲食店でのメニュー提供企画やバイヤー等商談支援を行う。 <海外事業> ・食の魅力発信や販路拡大を図るため、発信力のある事業者等を活用した食の魅力発信と、現地でのトップセールス、商談会等を開催する。					 
連携市町	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町					
事業費 （千円）	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	32,954	26,754	32,954	22,254	28,454	143,370
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町及び関係団体との連絡体制を強化するとともに、圏域内特産品に関するプロモーションに取り組む。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	地域の関係団体や生産者等との連絡調整を行うとともに、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
「おいしい福井県産そば使用店」認証店舗数	110 店舗	122 店舗

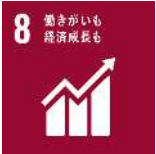
事業名	(6) 在来種そばプロモーション					S D G s
事業概要	そば処としての圏域の魅力向上と在来種そばの消費拡大を図るため、在来種そばに関するプロモーションに連携して取り組む。 (主な事業内容) ・在来種そばに関するPR資材(ポスター、パンフレット、リーフレット、動画など)を制作し、メディアやSNS等の広告媒体を活用しながら効果的な情報発信に取り組む。 ・圏域内の周遊を促し、在来種そばの消費拡大を図るために、インスタグラム等SNSキャンペーンを実施する。					 
連携市町	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町及び関係団体との連絡体制を強化するとともに、在来種そばに関するプロモーションに取り組む。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	地域の関係団体や生産者等との連絡調整を行うとともに、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	戦略的な観光施策の推進
圏域内の観光資源の魅力向上や広域観光周遊ルートの形成、情報発信力の強化のほか、外国人観光客の受入体制の整備など、圏域全体への誘客拡大に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
観光おもてなし体験だよりに寄せられた、嶺北 11 市町を訪れた人の好意的な意見の割合	95%	96%

事業名	(7)観光客受入環境充実					S D G s
事業概要	多くの観光客に訪れてもらい、リピーターとして再訪してもらうため、受入環境の更なる充実を図る。 (主な事業内容) - 体験型観光素材の磨き上げと旅行商品化を支援する。 - 官民連携によるおもてなし機運の醸成を図るため、観光おもてなし運動を推進する。 - 圏域内の観光資源を活用した旅行商品を造成する旅行会社に対し支援する。 - 圏域内の周遊滞在型観光事業(ルート)の支援、構築を行う。					 
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	11,355	9,355	9,355	9,355	9,355	48,775
役割分担 及び 費用負担	福井市	観光コンテンツの磨き上げ、旅行商品の造成支援等を行う。 おもてなし市民運動を推進する。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	コンテンツの情報提供、調整を行う。 おもてなし市民運動へ参加する。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
ポータルサイト閲覧数	1,630 千ページビュー	3,031 千ページビュー

事業名	(8)広域観光情報発信						S D G s
事業概要	ふくいのイメージを明確化し観光誘客を図るため、北陸観光に行かなければ必ず訪れたくなる必須エリアとして嶺北エリアを新たにブランディングするなど、情報発信に連携して取り組む。 (主な事業内容) ・嶺北エリアの情報(食・体験・観光ガイド・まち歩きコース・二次交通等)をワンストップで取得できるポータルサイトを運営する。 ・嶺北エリアの情報をSNSを通じて発信する。 ・観光プロモーション動画の製作・配信を行い、ふくいエリアのプロモーションを図る。 ・ワンストップで各市町の魅力的かつ多様な観光情報を提供するため、JR福井駅の観光案内所を運営する。						 
連携市町	全市町						
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計	
	59,425	59,425	59,425	59,425	59,425	297,125	
役割分担 及び 費用負担	福井市	観光ポータルサイト及び観光SNSアカウントを運営する。 観光プロモーション動画を制作・配信する。 福井市観光交流センター内観光案内所を整備し、圏域内の観光情報の一元的な発信に取り組む。 事業実施に必要な費用を負担する。					
	連携市町	観光素材及び観光情報を提供する。 観光プロモーション動画の素材・情報を提供する。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。					

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
嶺北 11 市町の観光客入込数	20,607 千人	30,920 千人

事業名	(9)ふくいプロモーション					S D G s
事業概要	北陸新幹線福井開業、大阪・関西万博開催及び中部縦貫自動車道県内区間開通効果を活用した観光誘客の推進を図るため、大都市圏（首都圏、関西圏、中京圏）でのプロモーション活動を通し、圏域内の観光素材（飲食・土産品・交通等を含む）の情報発信に連携して取り組む。 （主な事業内容） ・大都市圏や北陸新幹線沿線の観光事業者への営業活動を行う（教育旅行を含む）。 ・出向宣伝の実施や観光商談会へ参加する。 ・旅行会社やメディア等の観光事業者を対象に営業活動を行う。 ・観光動態調査の結果を活用し、効率的なプロモーションを行う。					 
連携市町	全市町					
事業費 （千円）	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	11,683	11,683	11,683	11,683	11,683	58,415
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
福井県・外国人延べ宿泊者数（暦年）	12,460 人泊	52,800 人泊

事業名	(10)外国人観光客向け情報発信・受入環境整備					S D G s
事業概要	北陸新幹線福井開業による効果の最大化及び大阪・関西万博による誘客効果の最大化を図るため、外国人に向けた訴求力のあるプロモーションを展開する。 （主な事業内容） ・フランスからの誘客を図るため、福井にゆかりある現地パリの人気店「越前そば 東郷」へ観光素材を設置する。 ・民間事業者による外国人観光客受入環境の整備に対して支援する。 ・在日外国人や外国人観光客が実際に利用する媒体・メディア、手法等を活用した福井観光プロモーションを行う。					 
連携市町	全市町					
事業費 （千円）	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	7,639	8,000	8,000	8,000	8,000	39,639
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

(2) 高次の都市機能の集積・強化

連携協約の内容	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
圏域全体に対する魅力的で質の高い都市的サービスの提供、圏域内外から通勤・通学・観光等で訪れる人々の利便性の向上など、高度な中心拠点の整備と広域的公共交通網の構築に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
公共交通機関の乗車人数（えちぜん鉄道、福井鉄道、路線バス）	811 万人	912 万人

事業名	(11) 二次交通の利便性向上					S D G s
事業概要	拠点駅からの二次交通の利便性向上を図るため、各市町間の調整やふくいMaaSの機能向上などに連携して取り組む。 （主な事業内容） - 公共交通利用促進に向けた各市町間の調整、事例研究等 - コミュニティバス等の相互乗り入れ - ふくいMaaSの機能向上（日常型MaaS機能の追加） - ふくいMaaSの電子企画切符を活用した利用促進 - 公共交通の効果的なPR活動 「(34) 公共交通利用促進」と一体的に取り組む					 
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	32,650	27,650	12,500	12,500	12,500	97,800
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町及び交通事業者等と連絡調整を行いながら、二次交通の利便性向上に向けた取組を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
ハピリン入込客数	226 万人	320 万人

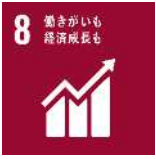
事業名	(12)中心拠点賑わい創出						S D G s
事業概要	北陸新幹線福井開業を契機に、圏域内外の交流人口を増大し、中心拠点における賑わいを創出するため、地域資源をPRするイベントなどに連携して取り組む。 (主な事業内容) ・JR福井駅周辺において、連携市町と連携し、圏域内の地域資源(観光資源・伝統工芸・景観資源など)を活用したPRイベント等を開催する。						
連携市町	全市町						
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計	
	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000	
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。					
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。					

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
広域景観情報発信件数（累計）	12 回	175 回

事業名	(13)福井ふるさと広域景観形成					S D G s
事業概要	圏域内の広域的な景観をアピールし、市町間での周遊滞在型観光の増加を図るため、県が北陸新幹線福井開業に向け広域景観保全の仕組みを作るために策定した「福井ふるさと広域景観ガイドライン」に基づき、景観形成に連携して取り組む。 また、P R 映像や広報物を活用し県内外へ情報発信を行う。 （主な事業内容） ・「福井ふるさと景観ガイドライン」の景観軸に沿った景観 P R 映像や、その映像の P R パンフレット等を制作する。 ・景観 P R 映像と関連したパネル展や P R 映像コンテストなどの観光誘客施策を実施する。					
連携市町	全市町					
事業費 （千円）	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	1,800	2,000	1,800	500	500	6,600
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	高等教育・研究開発の環境整備
地域社会の発展に貢献する人材を確保するため、圏域内の企業ニーズに応じた人材育成やその環境整備に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
若手人材育成事業に参加する高校数 (累計)	-	25 校

事業名	(14)地域のために働く人材の育成					S D G s
事業概要	地域社会の発展に貢献する人材を確保するため、高校生を対象に、地域や企業、行政等が協働し、己の在り方と生き方を考えながら、地域課題を発見し解決する資質や能力の向上に取り組む。 (主な事業内容) ・高校生を対象に、地域と企業と行政が連携して企業訪問等を行い、地域課題について考える。					
連携市町	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

連携協約の内容	地域医療及び介護・福祉サービスの充実
広域連携による地域医療や成年後見支援体制、子育て環境の充実など、生活機能の強化に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
救急医療提供体制の維持	救急医療提供体制の維持	救急医療提供体制の維持

事業名	(15)休日における救急医療体制確保						SDGs
事業概要	圏域内住民が安心して生活できる救急医療体制の確保を図るため、連携して休日急患歯科診療、休日初期救急医療及び病院群輪番制病院運営を実施する。 (主な事業内容) <休日急患歯科診療> 福井市に所在する福井市休日急患歯科診療所を活用することで、日曜祝日における圏域内の住民が安心できる歯科医療体制の確保を図るとともに、利用促進に向けた積極的な広報などに連携して取り組む。 <休日初期救急医療> 圏域内の休日初期救急医療機関である福井市休日急患センターの活用を促進することで、重症度、緊急度に応じた救急医療体制を確保するとともに、施設の効率的な運営を図る。 <病院群輪番制病院運営> 嶺北基幹病院(7病院)による日曜祝日とその夜間の二次救急医療を実施することで、圏域内救急医療機関の診療体制を補完するとともに、圏域内住民が安心して生活できる救急医療体制の確保を図る。						
連携市町	全市町						
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計	
	66,600	66,600	66,600	66,600	66,600	333,000	
役割分担 及び 費用負担	福井市	福井市休日急患歯科診療所及び福井市休日急患センターを運営し、運営費を負担する。 各基幹病院や各市町の補助負担額を算出し、各病院へ通知するとともに補助金を支出する。					
	連携市町	各基幹病院へ補助金を支出する。					

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
市民後見人名簿登録者数(累計)	-	10 人

事業名	(16)成年後見制度利用促進体制整備					S D G s
事業概要	圏域内の高齢者等がより安心して生活することができる社会を実現するため、「ふくい嶺北成年後見センター」と連携市町が共同して、成年後見制度の利用促進を図るとともに、地域連携ネットワークづくりや中核機関の機能強化、市民後見人の養成・育成に連携して取り組む。 (主な事業内容) ・圏域内住民を対象に成年後見制度普及啓発イベントを開催する。 ・一次相談窓口職員対象に、成年後見制度の研修会を開催する。 ・市民後見人養成講座を開催し、市民後見人の担い手の育成を図る。 ・市民後見人養成講座修了者を対象に、フォローアップ講座を開催する。 ・親族後見人や市民後見人等が後見業務において孤立することがないように、「後見人のつどい」を開催し、後見活動の情報交換を行う。					
連携市町	福井市、勝山市、鯖江市、永平寺町、池田町、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	18,800	23,800	23,800	23,800	23,800	114,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
保育士等研修の開催回数	-	3 回

事業名	(17)保育士等研修開催					S D G s
事業概要	圏域内における保育士等のスキル向上や専門知識の習得を図るため、連携して研修会等を開催し、保育の質を高め、安心して子どもを保育できる環境を整える。 (主な事業内容) ・子どもの発達段階に応じたきめ細やかな教育保育の提供に関する研修会等を開催する。 ・障がい児や医療的ケア児、気になる子等の保育に関する専門的な研修会等を開催する。 ・その他、保育の質の向上に関する視察・情報交換等を行う。					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	180	180	180	180	180	900
役割分担 及び 費用負担	福井市	研修会の企画・運営を行うとともに、関係者に対して必要な情報を提供する。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	中心市と連携し、研修会の運営に関わるとともに、関係者に対して必要な情報を提供する。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	学校教育・社会教育の環境整備
広域連携による学習環境の向上や、圏域内の多様な人材活用による講師派遣など、教育環境整備に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
学校教育担当者会議の開催回数	1 回	2 回

事業名	(18)学校教育担当者会議開催					S D G s
事業概要	学校教育に関する課題等に対して、情報交換や協議などを行いながら解決等に向けて連携して取り組む。 (主な検討事項) ・ I C T 関係：プログラミング教育、I C T 環境構築、I C T 環境整備、地域や企業の人材活用 など ・ 事務処理：プール監視員の雇用、生活支援員等の雇用 など ・ 就学援助：保護者への周知方法、入学前支給 など ・ 学校給食：調理業務の運営方法、公費負担対応の範囲、学校給食栄養管理ソフトの導入 など ・ 小中学校の適正配置 ・ 学校施設の長寿命化 ・ 学校徴収金未納への対応					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	課題等の情報提供など、事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
公開講座の参加者に占める連携市町住民の割合	-	10%

事業名	(19)生涯学習推進						S D G s
事業概要	圏域内での生涯学習の推進を図るため、市町間での講師派遣や圏域内住民対象の公開講座を開催し、生涯学習機会の充実に連携して取り組む。 (主な事業内容) ・各市町の人材活用事業登録者の情報を共有し、本事業の活用を促す。 ・圏域全体の社会教育を推進するため、圏域内住民を対象とした公開講座を開催する。						
連携市町	全市町						
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計	
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画、運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。					
	連携市町	各種団体、住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。					

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
連携した講演会、企画展示等のイベント開催数	-	2 回

事業名	(20)図書館相互利用サービス					S D G s
事業概要	各市町立図書館の利用資格者を圏域内の住民に拡大し、図書の相互利用を目指すほか、各図書館のP R等の実施により、住民の利便性向上と施設の利用促進に連携して取り組む。 (主な事業内容) ・相互利用の実施に向けて検討会議を開催する。 ・図書館の利用促進のため、行事開催等のパンフレットを作成する。 ・展示や講演会等のイベントを連携して開催する。					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	500	1,450	7,225	2,210	2,210	13,595
役割分担 及び 費用負担	福井市	事業内容の協議、検討の調整等を行う。 圏域住民の利用者登録、資料貸出等を実施し、住民の利便性向上を図る。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	圏域住民の利用者登録、資料貸出等を実施し、住民の利便性向上を図る。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	文化振興
圏域内の魅力ある文化資源を発掘し情報発信するとともに、文化資源や文化芸術イベントを活用し観光誘客や交流人口の増加を図るなど、文化芸術の振興に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
嶺北 11 市町の主要文化施設入館者数	1,047 千人	1,205 千人

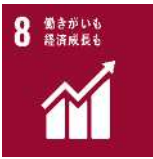
事業名	(21)地域の魅力ある文化資源活用と文化施設間連携強化					S D G s
事業概要	圏域内の文化芸術の振興や交流人口の増加を図るため、各文化施設のイベントや地域の魅力ある文化資源等の情報発信に連携して取り組む。 (主な事業内容) ・共通のテーマに沿った文化資源を紹介するパンフレットを制作する。 ・文化資源パンフレットを基に、圏域内の各文化施設において、巡回パネル展を開催する。 ・企画展等の情報を効果的に広報するため、圏域内の文化、芸術イベントのチラシを制作する。					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	文化資源や文化施設等に関する情報の提供及び地域住民への広報などに連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	地域振興
広域連携による鳥獣害対策、就職支援や企業誘致の促進など、圏域全体の活性化や地域の振興に取り組む。	

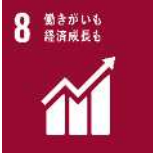
成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
嶺北 11 市町の有害鳥獣による農作物被害金額	95,091 千円	52,714 千円

事業名	(22)鳥獣害対策連絡会議開催					S D G s
事業概要	圏域内各市町で実施している鳥獣害対策について情報交換等を行いながら、効果的・効率的な事例を調査・研究し、鳥獣害対策に連携して取り組む。 (主な事業内容) ・圏域内の各市町で実施している鳥獣害防止策に関する情報交換を行う。 ・効果的・効率的な鳥獣害防止策に関する研修を開催する。					 
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡、調整を行い、事業を企画し実施する。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
就職支援を受けた者のうち圏域内の企業へ就職した者の割合(障がい者)	21.6%	25.0%

事業名	(23)多様な人材活用促進					S D G s
事業概要	圏域内への移住促進や圏域内企業の労働力確保などを図るため、福井市が開催する就職支援事業について対象者を圏域内住民に拡大するほか、各市町が実施する事業について情報を共有し広く周知するなど、女性や若者等の就労促進に連携して取り組む。 (主な事業内容) ・子育て中の母親や障がい者などを対象にきめ細かな就職支援セミナー等を開催する。 ・若者などを対象に出張就職相談会を開催する。 ・補助金や奨励金など、圏域内各市町の支援メニューの情報を一元化し、周知広報を行う。					
連携市町	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	1,511	1,511	1,511	1,511	1,511	7,555
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	広報誌等により事業を周知する。 事業に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
企業立地に関する展示会等への参加市町数	3 市町	9 市町

事業名	(24)企業誘致促進					S D G s
事業概要	圏域外からの企業誘致を促進するため、「企業誘致連絡会」を設置し、企業誘致に係る各種課題の共同研究や圏域内市町間の情報共有等に連携して取り組む。 (主な事業内容) ・立地希望企業、産業用地、空き工場など企業誘致に係る情報を圏域内市町間で共有し、必要に応じてマッチングを行う。 ・首都圏や関西圏で開催される展示会に共同で出展し、圏域市町のPRを行う。					 
連携市町	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	699	699	699	699	699	3,495
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	連絡会への参画、関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	災害対策
災害発生時における相互応援の円滑化や、広域連携による人材育成、研修会開催など、減災・防災体制の強化に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
防災センター入館者数（累計）	504,849 人	600,000 人

事業名	(25)防災センター展示・体験施設環境整備					S D G s
事業概要	台風や水害等の大規模災害に備えるため、最新の防火防災知見とリアルな展示・体験技術を取り入れた学習効果の高い施設となるよう機能向上に取り組むとともに、更なる広域利用の促進に取り組む。 (主な事業内容) ・近年全国で多発している様々な災害の状況を踏まえ、台風体験装置や煙体験装置等について、他都市の施設や最新の機器を考慮し改修を行う。 ・改修後は、ホームページなどの広報媒体を活用し、入館者の促進を図るとともに、最新の防災知識を提供し、災害発生時の対応能力を高めていく。					
連携市町	全市町 （福井市消防局、南越消防組合消防本部、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、嶺北消防組合消防本部、永平寺町消防本部）					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	0	0	0	7,000	53,610	60,610
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業を企画し実施する。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
被災地視察・防災学習会への参加回数	2 回	2 回

事業名	(26)防災担当職員人材育成					S D G s
事業概要	広域的な大災害に対する圏域内の市町職員間の連携や対応等の習得、近年の震災や豪雨災害、大雪等への対応状況や先進的な訓練の取組事例の知識共有のため、被災地視察をはじめ、国や全国各地で開催される防災学習会に積極的に参加し、防災担当職員の育成と圏域内の防災体制強化を図る。 (主な事業内容) ・大規模災害等のあった被災地訪問や防災学習会の参加を通じて、発災時の初期対応や避難所開設・運営、被災者支援など災害発生に係る課題について調査・研究する。					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	1,457	1,457	1,457	1,457	1,457	7,285
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
防災に関する連絡会議の開催	2 回	2 回

事業名	(27)地域防災力向上					S D G s
事業概要	防災に関する連絡会議を開催し、災害発生時に「福井県・市町災害時相互応援協定」に定める応急対策や復旧活動が円滑に実施されるよう協議を行うとともに、各市町における課題及び他市町の現状や取組を共有することで課題の解決につなげる。 (主な事業内容) ・連絡会議において、各市町の課題と備蓄物資、資機材等の情報を共有し、課題の解決及び物資・資機材の提供、職員の応援などについて検討を行う。					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	13	13	13	13	13	65
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
自主防災組織の研修会等の開催	1 回	1 回

事業名	(28)市民防災交流					S D G s
事業概要	圏域内住民の防災意識の醸成や自助、共助の促進による地域防災力の向上を図るため、圏域内市町の各自主防災組織等による研修会、意見交換会等を開催するとともに、総合防災訓練、防災学習会等への参加を促し交流を深める。 (主な事業内容) - 意見交換会において、圏域内の自主防災組織の先進的な活動事例の紹介や外部講師による最新の災害情報等の習得を行う。 - 圏域内の各自主防災組織に対して、各市町で行われる総合防災訓練や防災学習会への積極的な参加を呼び掛ける。					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	226	226	226	226	226	1,130
役割分担 及び 費用負担	福井市	自主防災組織等と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
防火・防災に関する研修会の開催件数 (累計)	18 回	36 回

事業名	(29)防火・防災研修共同開催					S D G s
事業概要	地震等の大規模災害における圏域内の住民の防火・防災対応能力の向上及び住民による広域的な連携活動など協力体制の構築を図るため、圏域内住民等を対象とした研修会を開催する。 (主な事業内容) ・防火・防災に関する研修会を共同開催する。					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	200	200	200	200	200	1,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
上級救命講習受講者数（累計）	207 人	500 人

事業名	(30)上級救命講習共同開催					S D G s
事業概要	A E D や心肺蘇生法等の救命に必要な応急手当の知識及び技術の習得による救命率の向上を図るため、連携して上級救命講習を共同開催する。 （主な事業内容） ・圏域内の住民を対象とした上級救命講習を共同開催する。 ・圏域内市町の住民に講習会の参加を広く呼びかけるための P R 活動に連携して取り組む。					
連携市町	福井市、大野市、勝山市、永平寺町					
事業費 （千円）	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	環境対策
災害時等におけるごみ処理施設間での相互応援の円滑化や、広域連携による環境啓発・教育、不法投棄対策など、環境保全の推進に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
企業向け環境研修会の参加企業数（累計）	131 社 （第 1 期累計）	160 社 （第 2 期累計）

事業名	(31)環境啓発・教育					S D G s
事業概要	環境保全に関する理解を深め、地域の環境保全活動を推進するとともに、公害の未然防止に係る取組を広域的に促進するため、環境アドバイザー派遣や企業向け研修会等に連携して取り組む。 （主な事業内容） < 環境アドバイザー派遣 > - 環境保全に関する理解を深め、地域の環境保全活動を推進するため、公民館、学校、事業者等の団体が実施する環境に関する講座・学習会等に環境アドバイザーを派遣する。 < 企業向け研修会 > - 公害の未然防止に係る取組を広域的に促進するため、その時勢に合ったテーマを厳選し、関連企業等を対象とした研修会を開催する。					 
連携市町	全市町					
事業費 （千円）	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	470	470	470	470	470	2,350
役割分担 及び 費用負担	福井市	派遣制度を周知・広報し、環境アドバイザーを募集・登録する。連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	派遣制度の周知・広報、環境アドバイザーの募集に連携し取り組む。企業に対する広報・募集など、事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
監視パトロールの実施回数	48 回	48 回

事業名	(32)不法投棄対策					S D G s
事業概要	不法投棄の未然防止や早期発見を図るため、圏域内市町境付近や河川敷など不法投棄されやすい場所を対象に広域的なパトロールやカメラによる監視を行う。 (主な事業内容) ・不法投棄重点監視箇所について協議・洗い出しを行い、パトロールの実施や監視カメラを設置する。 ・不法投棄対策に関する情報共有、意見交換を行う。					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648	8,240
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
ごみ処理対応能力の向上に資する研修会の開催数	1 回	1 回

事業名	(33)ごみ処理相互応援					S D G s
事業概要	災害時のごみ処理対応能力の向上や、食品ロス削減の意識向上の推進に連携して取り組む。 (主な事業内容) <災害ごみ適正処理推進> ・災害時、当該市町のみではごみ処理が困難になった場合に備え、災害時ごみ処理に係る最新事例などを踏まえた対応能力の向上を図るため、専門家を招いた研修会を開催する。 <フードドライブ> ・フードドライブへの関心と食品ロス削減への意識を更に高めるため、連携市町による広域的なフードドライブを実施する。					 
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	120	120	120	120	120	600
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町における実施時期の情報を集約し、必要に応じて調整を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	地域公共交通の充実
公共交通機関の利用促進など、地域公共交通のネットワークの維持・強化に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
< 再掲 > 公共交通機関の乗車人数（えちぜん鉄道、福井鉄道、路線バス）	811 万人	912 万人

事業名	(34) 公共交通利用促進					S D G s
事業概要	圏域全体の公共交通の利用者増に向けて、嶺北11市町間の調整、コミュニティバス等の相互接続、効果的なPR活動などに連携して取り組む。 （主な事業内容） < 再掲 > - 公共交通利用促進に向けた各市町間の調整、事例研究等 - コミュニティバス等の相互乗り入れ - ふくいMaaSの機能向上（日常型MaaS機能の追加） - ふくいMaaSの電子企画切符を活用した利用促進 - 公共交通の効果的なPR活動 「(11) 二次交通の利便性向上」と一体的に取り組む					 
連携市町	全市町					
< 再掲 > 事業費 （千円）	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	(32,650)	(27,650)	(12,500)	(12,500)	(12,500)	(97,800)
役割分担 及び 費用負担	福井市	「ふくいMaaS協議会」事務局を担う。 連携市町及び交通事業者等と連絡調整を行いながら、公共交通の利用促進に向けた取組を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	「ふくいMaaS協議会」の構成団体。 事業実施に連携して取り組み、必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	I C T ・ 道路等社会インフラの整備
I C Tの活用による利便性の向上、圏域内の交通等の円滑化を図るためのネットワークの整備、広域連携による公共施設のあり方研究など、圏域内の結びつきやネットワークの強化に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
I C Tに係る共同利用、共同研究の件数（累計）	3 件 （第 1 期累計）	3 件 （第 2 期累計）

事業名	(35)情報システム広域連携調査研究					S D G s
事業概要	各種情報施策や行政システムの効率的な運用に連携して取り組む。 （主な事業内容） ・ 情報システムの共同利用に向けた調査研究、連携各市町の行政システムについての情報交換を行う。 ・ 情報システムについての研修、意見交換会等を開催し、圏域内市町の情報システム担当のスキルアップを図る。 ・ 業務効率化ツールについて共同で研究・調達を検討し、業務の省力化を図る。					
連携市町	全市町					
事業費 （千円）	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	1,859	1,859	1,859	1,859	1,859	9,295
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。合理的な基準により算出された費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
広域航空写真地図データの共同調達 (累計)	1 件 (第 1 期累計)	1 件 (第 2 期累計)

事業名	(36)広域航空写真地図データ整備					SDGs
事業概要	広域航空写真地図データの効率的な作成や更なる有効活用を図るため、データ整備を共同で行うとともに、更なる有効活用に向けた調査・研究に連携して取り組む。 (主な事業内容) ・GIS等で利用できる広域の航空写真地図データの共同撮影を行う。 ・広域航空写真地図データの防災業務での利用など、様々な分野での活用について調査・研究を行う。					
連携市町	福井市、大野市、鯖江市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	0	0	71,168	0	0	71,168
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。合理的な基準により算出された費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
広域道路ネットワーク形成のあり方等に資する研修会・意見交換会の開催回数	2 回	2 回

事業名	(37)広域道路ネットワーク整備促進					S D G s
事業概要	平常時・災害時を問わず安定的に利用できる広域道路ネットワークの構築や連携市町を結ぶ幹線道路の整備を促進するため、研修会の開催や関係機関への要望活動などに連携して取り組む。 また既存の道路ネットワークの安心・安全効果を最大限高めるため、D Xの推進やソフト事業の調査・研究に連携して取り組む。 (主な事業内容) ・広域道路ネットワーク形成のあり方に関して、県職員や外部講師等を交えた研修会を開催し、調査・研究を行う。 ・道路の整備促進に関する関係機関への要望活動を行う。 ・除雪車位置情報システム(G P S)の追加機能について、県職員を交えた勉強会を開催し意見交換を行う。 ・除雪や水防等のD X推進(道路カメラや積雪センサーの活用等)に取り組む先進地を視察する等、情報収集、調査・研究を行う。 ・住民協働の道路除雪を支援する取組について、各市町の動向を情報交換し、住民協働の道路除雪について調査・研究する。					 
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	100	270	170	100	100	740
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
ファシリティマネジメント研修会等の開催回数（累計）	5 回	17 回

事業名	(38)公共施設のあり方研究						SDGs
事業概要	圏域内住民のサービス維持・向上や施設管理コストの縮減を図るため、ファシリティマネジメント研修会や公共施設のあり方に関するシンポジウムを開催するなど、圏域全体で捉えたファシリティマネジメントに連携して取り組む。 （主な事業内容） ・ 公有財産の有効活用や包括民間委託制度など圏域内市町が抱える課題等に関する研修会を開催する。 ・ 施設マネジメントに関する先進事例や施設の利用料金のあり方、共同利用等について研究を行い、より効果的・効率的な施策・仕組みを検討する。						
連携市町	全市町						
事業費 （千円）	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計	
	200	200	200	200	200	1,000	
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。					
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。					

連携協約の内容	地域内外の住民との交流・移住促進
圏域の魅力に関する情報の発信力を強化するなど、大都市圏からの移住定住の促進及び交流人口の拡大に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
UI ターン者数(移住者数)	1,047 人	1,040 人以上

事業名	(39)移住促進・首都圏等情報発信強化					S D G s
事業概要	圏域の暮らしやすさを広くPRし、交流・移住の促進を図るため、交流・移住イベントの共同出展や首都圏や関西圏、中京圏での情報発信等を連携して行うとともに、圏域内市町間で移住相談窓口の連携強化に取り組む。 (主な事業内容) ・首都圏、関西圏、中京圏での交流・移住イベントへの共同出展を行う。 ・圏域内市町間で移住相談窓口の連携を強化し、圏域全体で移住希望者受入れに取り組む。 ・「連絡会議」を開催し、情報共有等連携を強化する。 ・圏域内市町の交流・移住情報等を取りまとめ、福井市東京事務所に各市町のパンフレット等を置くなど情報発信を行う。 ・移住ツアーの基盤づくりを行い、圏域内の魅力をPRする。					 
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	4,509	3,839	3,839	3,839	3,839	19,865
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	ネットワークの強化・人材の育成
地域づくりを担う人材の育成、圏域内の市町職員の人材育成や交流など、圏域マネジメント能力の強化に取り組む。	

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
広報力アップにかかる職員研修内容の有効度	-	90%

事業名	(40)効果的な情報発信					S D G s
事業概要	圏域内市町の広報課題の共有を図るとともに、市民等に伝わる広報を目指し、広報担当職員のスキルの向上に連携して取り組む。 (主な事業内容) ・情報共有の強化を図るため、圏域内市町の広報担当職員間で広報連絡会を開催する。 ・広報担当職員を対象とした広報スキルアップ研修会を開催する。					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用負担する。				
	連携市町	住民への情報発信など、事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
地域おこし協力隊の配置人数（累計）	115 人	175 人

事業名	(41)地域おこし協力隊連携促進					S D G s
事業概要	圏域内の地域おこし協力隊の活動の更なる充実による地域の活性化を図るため、地域おこし協力隊の新規採用をはじめ、人材育成や地域づくり活動に連携して取り組む。 （主な事業内容） ・東京、大阪等で開催される地域おこし協力隊の募集イベント等に合同で出展する。 ・圏域内市町の地域おこし協力隊及び担当職員向けの研修会等や情報交換・意見交換会を開催する。 ・圏域内市町の地域おこし協力隊の制度や隊員の活動等を取りまとめた事例集を作成する。					
連携市町	全市町					
事業費 （千円）	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	1,274	874	874	874	874	4,770
役割分担 及び 費用負担	福井市	事業の企画運営や取りまとめを担う。 イベント参加旅費を除き、事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	各市町における関係者間の連絡調整等を行うとともに、事業に連携して取り組む。 イベント参加旅費など、必要に応じて事業実施に係る費用を負担する。				

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
職員研修受講者の満足度割合	85%	90%

事業名	(42)職員共同研修開催					S D G s
事業概要	圏域内の市町職員の資質向上及び政策形成能力や行政運営能力の向上並びに人的交流の促進を図るため、共同研修の開催及び実務研修に連携して取り組む。 (主な業務内容) ・県自治研修所等で行う研修を補完する内容の研修を実施する。 ・実務研修(職員の相互派遣)に向けて検討(WG)を行う。					
連携市町	全市町					
事業費 (千円)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	計
	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

2 成果指標 (再掲)

本ビジョンの具体的取組の成果を検証するために、事業ごとに指標を設定する。

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
商工業振興施策に係る協議回数 (累計)	1 回	5 回
創業セミナー及び事業承継相談会の開催回数	3 回	4 回
新事業等支援件数 (累計)	5 件	20 件
物産展等での出品、P R 市町数	8 市町	11 市町
販路拡大事業 (イベント・商談会等) への参加事業者数	60 事業者	90 事業者
「おいしい福井県産そば使用店」認証店舗数	110 店舗	122 店舗
観光おもてなし体験だよりに寄せられた、嶺北 11 市町を訪れた人の好意的な意見の割合	95%	96%
ポータルサイト閲覧数	1,630 千ページビュー	3,031 千ページビュー
嶺北 11 市町の観光客入込数	20,607 千人	30,920 千人
福井県・外国人延べ宿泊者数 (暦年)	12,460 人泊	52,800 人泊

(2) 高次の都市機能の集積・強化

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
公共交通機関の乗車人数 (えちぜん鉄道、福井鉄道、路線バス)	811 万人	912 万人
ハピリン入込客数	226 万人	320 万人
広域景観情報発信件数(累計)	12 回	175 回
若手人材育成事業に参加する高校数 (累計)	-	25 校

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
救急医療提供体制の維持	救急医療提供体制の維持	救急医療提供体制の維持
市民後見人名簿登録者数(累計)	-	10 人
保育士等研修の開催回数	-	3 回
学校教育担当者会議の開催回数	1 回	2 回
公開講座の参加者に占める連携市町住民の割合	-	10%
連携した講演会、企画展示等のイベント開催数	-	2 回
嶺北 11 市町の主要文化施設入館者数	1,047 千人	1,205 千人
嶺北 11 市町の有害鳥獣による農作物被害金額	95,091 千円	52,714 千円
就職支援を受けた者のうち圏域内の企業へ就職した者の割合(障がい者)	21.6%	25.0%

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
企業立地に関する展示会等への参加 市町数	3 市町	9 市町
防災センター入館者数（累計）	504,849 人	600,000 人
被災地視察・防災学習会への参加回数	2 回	2 回
防災に関する連絡会議の開催	2 回	2 回
自主防災組織の研修会等の開催	1 回	1 回
防火・防災に関する研修会の開催件数 （累計）	18 回	36 回
上級救命講習受講者数（累計）	207 人	500 人
企業向け環境研修会の参加企業数	131 社 （第 1 期累計）	160 社 （第 2 期累計）
監視パトロールの実施回数	48 回	48 回
ごみ処理対応能力の向上に資する研修会 の開催数	1 回	1 回
< 再掲 > 公共交通機関の乗車人数 （えちぜん鉄道、福井鉄道、路線バス）	811 万人	912 万人
I C Tに係る共同利用、共同研究の件数 （累計）	3 件 （第 1 期累計）	3 件 （第 2 期累計）
広域航空写真地図データの共同調達 （累計）	1 件 （第 1 期累計）	1 件 （第 2 期累計）
広域道路ネットワーク形成のあり方等に 資する研修会・意見交換会の開催回数	2 回	2 回
ファシリティマネジメント研修会等の 開催回数（累計）	5 回	17 回

成果指標	現状値(R4 年度)	目標(R10 年度)
UI ターン者数(移住者数)	1,047 人	1,040 人以上
広報力アップにかかる職員研修内容の有用度	-	90%
地域おこし協力隊の配置人数(累計)	115 人	175 人
職員研修受講者の満足度割合	85%	90%

第2期

ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン

令和6年(2024年)●月●日 策定

福井市総務部総合政策課

福井市大手3丁目10番1号

TEL 0776-20-5283